PIXUS iP6700D

操作ガイド

使用説明書

ご使用前に必ずこの使用説明書をお読みください。
将来いつでも使用できるように大切に保管してください。

取扱説明書の見かた／記号について
安全にお使いいただくために
こんなことができます
各部の名称と役割

印刷してみよう
プリンタの電源を入れる / 切る／用紙のセット／
基本的な印刷

一歩すすんだ使いかた
専用紙について／便利な機能について／
プリンタドライバの開きかた／ DVD/CD に印刷

お手入れ
インクタンクの交換／印刷にかすれやむらがあるときは

困ったときには

付録
電子マニュアルを読もう／仕様／同梱物について／
お問い合わせの前に

J QT5-0376-V01

取扱説明書の見かた／記号について

取扱説明書について

かんたんスタートガイド

必ず、最初にお読みください。

本体設置編

プリンタの設置や準備など、本プリンタをご購入後、初めて使用するまでに必要な説明が記載されています。

ソフトウェアインストール編

パソコンと接続して使用するときに必要なソフトウェアのインストール方法について説明しています。

操作ガイド

印刷を開始するときにお読みください。

文書を印刷する操作を例に、基本的な印刷手順、用紙のセット方法、日常のお手入れ、困ったときの対処方法など、本プリンタをお使いいただく上で基本となる操作・機能について説明しています。

ダイレクトプリントガイド

デジタルカメラとプリンタだけで印刷するときにお読みください。

デジタルカメラのメモリーカードをプリンタにセットして写真を印刷する操作、デジタルカメラをプリンタに接続して写真を印刷する操作、操作パネルで行うメンテナンス操作について説明しています。

電子マニュアル

パソコンの画面で見る取扱説明書です。

プリンタガイド

いろいろな用紙への印刷方法や、困ったときの対処方法などについて説明しています。

印刷設定ガイド

印刷するときに必要なプリンタドライバの設定方法について説明しています。

アプリケーションガイド

『セットアップCD-ROM』に収められているアプリケーションの使い方を説明しています。

Bluetoothユーザーズガイド

パソコンやBluetooth通信に対応した機器からの印刷方法と、困ったときの対処方法を説明しています。

マイ プリンタ（Windows 版のみ）

プリンタの操作を手助けするソフトウェアです。

プリンタドライバやステータスモニタの画面を、ここから簡単な操作で開くことができます。プリンタの設定や状態を、確認したり変更したりできます。
また、操作に困ったとき、対処方法をお知らせするメニューもあります。
デスクトップのアイコンをダブルクリックして、ラクラク操作を体験してみてください。

記号について

本書で使用しているマークについて説明します。本書では製品を安全にお使いいただくために、大切な記載事項には下記のようなマークを使用しています。これらの記載事項は必ずお守りください。

取扱いを誤った場合に、死亡または重傷を負う恐れのある警告事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの警告事項をお守りください。

取扱いを誤った場合に、傷害を負う恐れや物的損害が発生する恐れのある注意事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの注意事項をお守りください。

操作上、必ず守っていただきたい重要事項が書かれています。製品の故障・損傷や誤った操作を防ぐために、必ずお読みください。

操作の参考になることや補足説明が書かれています。

ごあいさつ

このたびは、キヤノン《PIXUS（ピクサス）iP6700D》をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。本製品の機能を十分に発揮させて効果的にご利用いただくために、ご使用の前に使用説明書をひととおりお読みください。
また、お読みになったあとは、必ず保管してください。操作中に使いかたがわからなくなったり、機能についてもっと詳しく知りたいときにお役に立ちます。

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

国際エネルギースタープログラムについて

当社は、国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。
国際エネルギースタープログラムは、コンピュータをはじめとしてオフィス機器に関する日本および米国共通の省エネルギーのためのプログラムです。このプログラムは、エネルギー消費が比較的少なく、その消費を効果的に抑えるための機能を備えた製品の開発、普及の促進を目的としたもので、事業者の自主判断により、参加することができる任意制度となっています。対象となる製品は、コンピュータ、ディスプレイ、プリンタ、ファクシミリ、複写機、スキャナ及び複合機（コンセントから電力を供給されるものに限る）で、それぞれの基準並びにマーク（ロゴ）は、日米で統一されています。

Exif Print について

このプリンタは、「Exif Print」に対応しています。
Exif Print は、デジタルカメラとプリンタの連携を強化した規格です。
Exif Print 対応デジタルカメラと連携することで、撮影時のカメラ情報を活かし、それを最適化して、よりきれいなプリント出力結果を得ることができます。

商標について

- Windows は、Microsoft Corporation の米国およびその他の地域における登録商標です。
- Macintosh、および Mac は、アップルコンピュータ社の米国およびその他の地域における登録商標です。
- Photo Rag は、Hahnemühle FineArt GmbH の商標です。
- SmartMedia、およびスマートメディアは、（株）東芝の商標です。
- メモリースティック、メモリースティック PRO、メモリースティック Duo、メモリースティック PRO Duo は、ソニー（株）の商標です。
- xD-Picture カードは、富士写真フイルム（株）の商標です。
- MultiMediaCard は、MultiMediaCard Association の商標です。
- SD カード、および miniSD カードは、SD Association の商標です。
- DCF は、（社）電子情報技術産業協会の団体商標で、日本国内における登録商標です。
- DCF ロゴマークは、（社）電子情報技術産業協会の「Design rule for Camera File system」の規格を表す団体商標です。
- IrDA は、Infrared Data Association の商標であり、キヤノンはライセンスに基づいて使用しています。
- Bluetooth は、米国 Bluetooth SIG, Inc. の商標であり、キヤノンはライセンスに基づいて使用しています。

お客様へのお願い

- 本書の内容の一部または全部を無断で転載することは、禁止されています。
- 本書の内容に関しては、将来予告なく変更することがあります。
- 本書の内容については万全を期していますが、万一誤りや記載漏れなどにお気づきの点がございましたら、キヤノンお客様相談センターまでご連絡ください。
  連絡先は、別紙の『サポートガイド』に記載しています。
- このプリンタを運用した結果については、上記にかかわらず責任を負いかねますので、ご了承ください。

Bluetooth ID: B02165

■ PIXUS iP6700D　目次

安全にお使いいただくために 3
こんなことができます 7
各部の名称と役割 9

印刷してみよう

プリンタの電源を入れる／切る 13
用紙をセットする 14
使用できない用紙について 14
オートシートフィーダとカセットについて 14
オートシートフィーダから給紙する 16
カセットから給紙する 23
印刷してみよう 31

一歩すすんだ使いかた

専用紙を使ってみよう 36
プリンタドライバの機能と開きかた 39
DVD/CD に印刷してみよう（DVD/CD ダイレクトプリント） 41
用意するもの 41
DVD/CD に印刷するときの注意について 42
CD-R トレイの取り付け 43
CD-R トレイの取り外し 46

お手入れ

インクタンクを交換する 48
印刷にかすれやむらがあるときは 49

困ったときには

困ったときには 50

付録

電子マニュアルを読もう 62
仕様 64
同梱物について 66
お問い合わせの前に 67

安全にお使いいただくために

安全にお使いいただくために、以下の注意事項を必ずお守りください。また、本書に記載されていること以外は行わないでください。思わぬ事故を起こしたり、火災や感電の原因になります。

⚠ 警告 以下の注意事項を守らずにご使用になると、感電や火災、プリンタの損傷の原因となる場合があります。

設置場所について	**アルコール・シンナーなどの引火性溶剤の近くに置かないでください。**
電源について	**濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。**
	電源プラグは確実にコンセントの奥まで差し込んでください。
	電源コードを傷つける、加工する、引っ張る、無理に曲げるなどのことはしないでください。また、電源コードに重いものをのせないでください。
	ふたまたソケットなどを使ったタコ足配線をしないでください。
	電源コードを束ねたり、結んだりして使わないでください。
	万一、煙が出たり変な臭いがするなどの異常が起こった場合、すぐに電源を切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。 そのまま使用を続けると、火災や感電の原因になります。お客様相談センターまたは修理受付窓口にお問い合わせください。
	電源プラグを定期的に抜き、その周辺およびコンセントにたまったほこりや汚れを乾いた布で拭き取ってください。 ほこり、湿気、油煙の多いところで、電源プラグを長期間差したままにすると、その周辺にたまったほこりが湿気を吸って絶縁不良となり、火災の原因となります。
お手入れについて	**清掃のときは、水で湿らせた布を使用してください。アルコール、ベンジン、シンナーなどの引火性溶剤は使用しないでください。** プリンタ内部の電気部品に接触すると、火災や感電の原因になります。 Benzene OIL Thinner
	清掃のときは、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。 清掃中に誤ってプリンタの電源が入ると、けがやプリンタの損傷の原因となることがあります。
取扱いについて	**プリンタを分解、改造しないでください。** 内部には電圧の高い部分があり、火災や感電の原因になります。
	プリンタの近くでは、可燃性のスプレーなどは使用しないでください。 スプレーのガスが内部の電気部品に触れて、火災や感電の原因になります。

● 蛍光灯などの電気製品の近くに置くときのご注意
蛍光灯などの電気製品とプリンタは約 15cm 以上離してください。近づけると蛍光灯のノイズが原因でプリンタが誤動作することがあります。

● 電源を切るときのご注意
電源を切るときは、必ず電源ボタンを押して電源ランプが消えていることを確認してください。電源ランプが点灯・点滅しているときに電源プラグをコンセントから抜いて切ると、プリントヘッドを保護できずその後印刷できなくなることがあります。

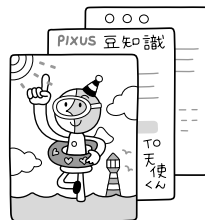
⚠ 注意 以下の注意を守らずにご使用になると、けがやプリンタの損傷の原因になる場合があります。

設置場所について	**不安定な場所や振動のある場所に置かないでください。**
	湿気やほこりの多い場所、屋外、直射日光の当たる場所、高温の場所、火気の近くには置かないでください。 火災や感電の原因になることがあります。 次の使用環境でお使いください。温度：5 ℃～ 35 ℃　湿度：10%RH ～ 90%RH
	毛足の長いじゅうたんやカーペットなどの上には置かないでください。 毛やほこりなどが製品の内部に入り込んで火災の原因となることがあります。
	プリンタ背面を壁につけて置かないでください。
電源について	**電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。** コードを引っ張ると、電源コードが傷つき、火災や感電の原因になることがあります。
	延長電源コードは使用しないでください。
	いつでも電源プラグが抜けるように、コンセントの周囲にはものを置かないでください。
	AC100V 以外の電源電圧で使用しないでください。 火災や感電の原因になることがあります。なお、プリンタの動作条件は次のとおりです。この条件にあった電源でお使いください。 電源電圧：AC100V　電源周波数：50/60Hz
	万一の感電を防止するために、コンピュータのアース接続をお勧めします。
取扱いについて	**印刷中はプリンタの中に手を入れないでください。** 内部で部品が動いているため、けがの原因となることがあります。
	プリンタを運ぶときは、必ず両側下部分を両手でしっかりと持ってください。
	プリンタの上にものを置かないでください。
	プリンタの上にクリップやホチキス針などの金属物や液体・引火性溶剤（アルコール・シンナーなど）の入った容器を置かないでください。
	万一、異物（金属片や液体など）がプリンタ内部に入った場合は、電源ボタンを押して電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お客様相談センターまたは修理受付窓口にお問い合わせください。
	本製品を保管／輸送するときは、傾けたり、立てたり、逆さにしないでください。 インクが漏れるおそれがあります。
プリントヘッド／インクタンクについて	**安全のため、お子様の手の届かないところへ保管してください。** 誤ってインクをなめたり飲んだりした場合には、ただちに医師にご相談ください。
	プリントヘッドやインクタンクを振らないでください。 インクが漏れて周囲や衣服を汚すことがあります。
	印刷後、プリントヘッドの金属部分には触れないでください。 熱くなっている場合があり、やけどの原因になることがあります。

～PIXUS豆知識　その1～

インクはどのように使われるの？

その1 ほとんどのインクは用紙にふき出されて使われます

思い出の写真をキレイに楽しく印刷してね！

その2 クリーニングでも少量のインクが使われます

きれいな印刷を保てるように、状況に応じて自動的にクリーニングを行います。
クリーニングとは、インクがふき出されるノズルから、わずかにインクを吸い出し、目づまりなどを防止する機能です。
（クリーニングは手動で行うこともできます。）
クリーニングなどで使用したインクは、プリンタ内部の「インク吸収体」とよばれる部分に吸収されます。

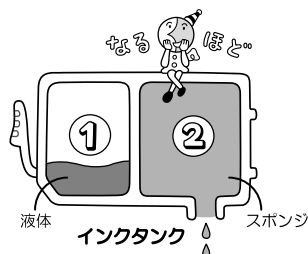
インク吸収体が満杯になると交換が必要になります。インク吸収体はお客様ご自身で交換はできませんので、必ずお客様相談センターまたは修理受付窓口にお問い合わせください。満杯になる前に、液晶モニターで「交換してください」とお知らせします。
詳しくはこちら ➔『ダイレクトプリントガイド』の「液晶モニターにエラーメッセージが表示されている」（P.64）

その3 各色のインクのなくなりかたは均一なの？

- 印刷する画像の色合いや、印刷物の内容によって異なります。
- 黒のみの文章を印刷したり、モノクロ印刷をするときにも、ブラック以外のインクが使われることがあります。

まめまめ知識

インクが少なくなったらお知らせします

まず、①がなくなるとインクランプがゆっくり点滅し、インクが少なくなったことをお知らせします。
次に、②がなくなるとインクランプがはやく点滅し、新しいインクタンクへの交換をお知らせします。
詳しくはこちら ➔『ダイレクトプリントガイド』の「インク残量を確認する」（P.53）、「交換が必要な場合」（P.53）

～PIXUS豆知識　その2～
とくべつな用紙だから、「失敗したくない！」ときには

印刷前にプリンタの様子を確認しよう！

プリントヘッドの調子は OK?

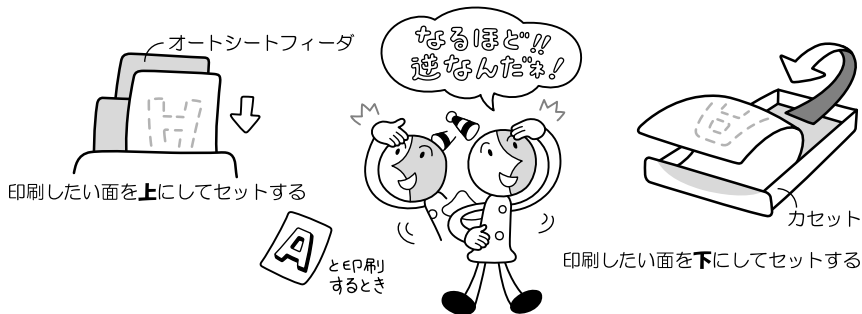
ノズルチェックパターンで確認できます。

詳しくはこちら ➔ 「印刷にかすれやむらがあるときは」（P.49）

プリンタの内部がインクで汚れていないかな？

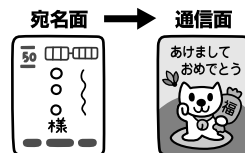
大量に印刷したあとや、フチなし印刷を行ったあとは、用紙の通過部分がインクで汚れている場合があります。
インクふき取りクリーニングで、プリンタの内部をおそうじできます。

詳しくはこちら ➔『プリンタガイド』の「プリンタの内部をお手入れする」

ポイント 用紙のセットのしかたは大丈夫？

例えば、オートシートフィーダに専用紙、カセットに普通紙をセットすれば、用紙を入れ替える手間が省けます！

● **はがきのセット（自動両面印刷のとき）**

自動両面印刷の場合は、宛名面→通信面の順番で印刷します。そのため、用紙は宛名面を先に印刷するようにセットしてください。

詳しくはこちら ➔ 「はがきのセット方法」（P.18）、（P.26）

● **はがきのセット（片面ずつ印刷するとき）**

片側の面をそれぞれ印刷する場合は、通信面から先に印刷すると、よりキレイに仕上がります。

反っている用紙は水平に伸ばしてからセットしてね

詳しくはこちら ➔「困ったときには」の「反りのある用紙を使用している」（P.55）

用紙に合わせてキレイに印刷！

プリンタドライバや接続するカメラの［用紙の種類］を使っている用紙に合わせてね

プリンタは最適な画質になるように、お使いの用紙に合わせて印刷方法を変えています。
どのような紙をセットしたのか、プリンタに伝えると、最適な画質に合わせて印刷できます。

こんなことができます

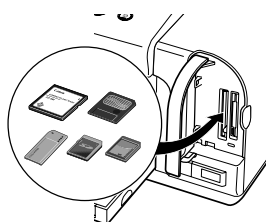
PIXUS iP6700D では、次のような使いかたができます。

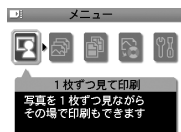
＊以下に紹介する各ダイレクト印刷の操作は、付属の『ダイレクトプリントガイド』をご覧ください。

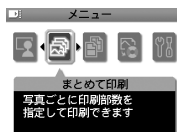
パソコンを使わずにダイレクト印刷

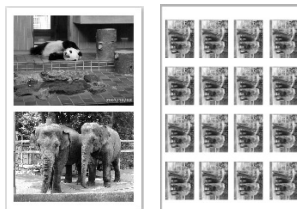
■ メモリーカードからダイレクト印刷

デジタルカメラのメモリーカードをプリンタにセットし、操作パネルのボタン操作だけで写真を印刷できます。パソコンは使いません。

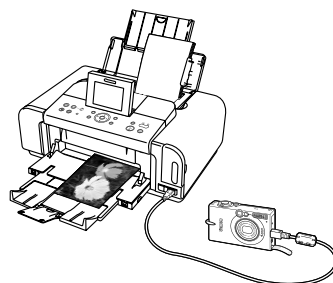
メモリーカードの写真を印刷する方法については、『ダイレクトプリントガイド』の「メモリーカードから印刷してみよう」（P.23）を参照してください。

● 1 枚ずつ見て印刷

写真を 1 枚ずつ見ながら、お気に入りの写真を選んで印刷できます。

● まとめて印刷

写真ごとに印刷枚数を指定して一度に印刷できます。

● いろいろな印刷

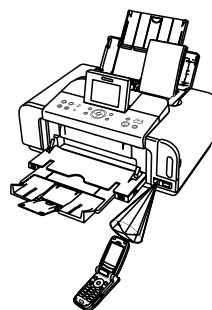
レイアウトを指定して印刷したり、好みの色合いで印刷したりと便利なメニューが選べます。

■ デジタルカメラからダイレクト印刷！

本プリンタに対応のデジタルカメラ、デジタルビデオを接続すれば、カメラの操作で直接写真が印刷できます。

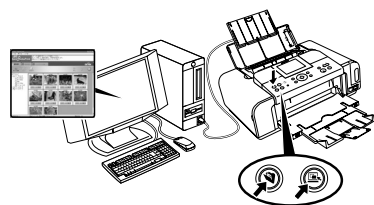
デジタルカメラの写真を印刷する方法については、『ダイレクトプリントガイド』の「デジタルカメラから直接印刷してみよう」（P.40）を参照してください。

■ 携帯電話や Bluetooth 対応機器からワイヤレス印刷

赤外線通信対応のカメラ付き携帯電話で撮影した写真をワイヤレスで印刷できます。

携帯電話の写真を印刷する方法については、『ダイレクトプリントガイド』の「ワイヤレス通信で印刷してみよう」（P.45）を参照してください。

また、オプションの Bluetooth ユニット BU-20 を使用すれば、Bluetooth 対応のパソコンや携帯電話からワイヤレスで印刷できます。詳しくは『Bluetooth ユーザーズガイド』（電子マニュアル）を参照してください。

パソコンにつなげば広がる用途

■ ボタンひとつで写真をパソコンへ！

メモリーカードをプリンタにセットして保存ボタンを押すだけで、写真をパソコンに保存できます。
またパソコンに、付属のアプリケーションソフトEasy-PhotoPrint とメモリーカードユーティリティをインストールしていれば、Easy-PhotoPrint 起動ボタンを押すだけで Easy-PhotoPrint が起動します。

■ パソコンからの印刷はもちろん OK 付属のアプリケーションソフトを使えば…

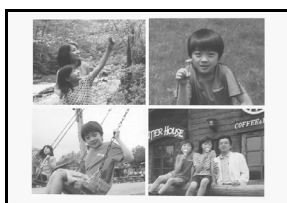
● Easy-PhotoPrint

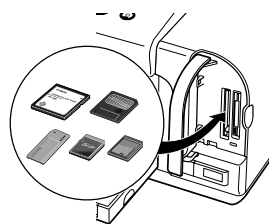
デジタルカメラで撮った写真と用紙を選ぶだけで、かんたんにフチなし全面印刷

● Windows PhotoRecord

デジタルカメラで撮った写真をパソコンに取り込み、簡単な操作で写真印刷。
写真の加工やキャプションを付ければ、アルバムのできあがり！

● そのほかにも…

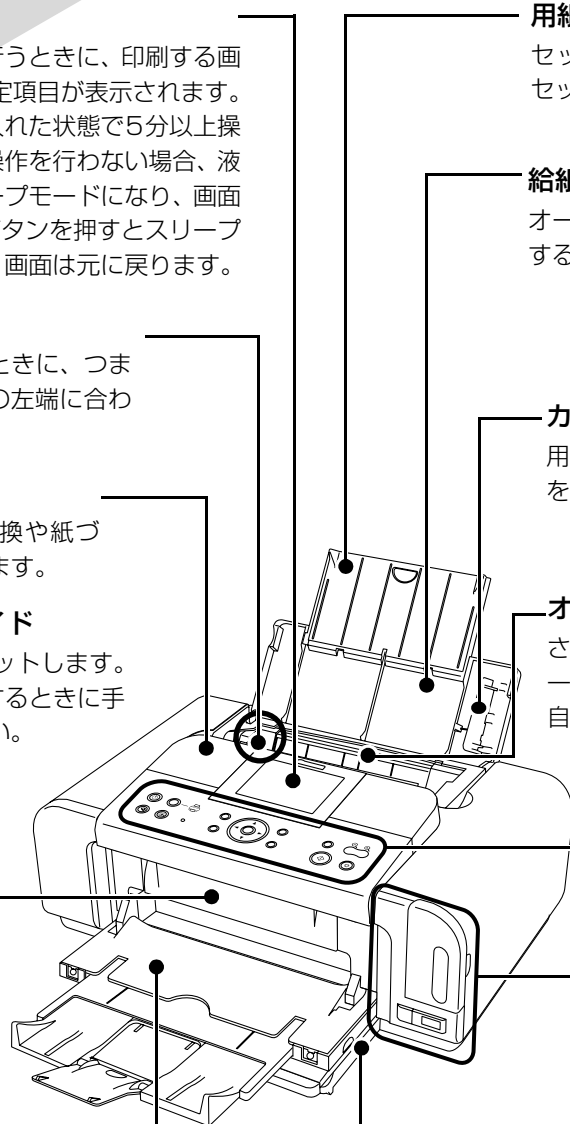
らくちん CD ダイレクトプリント for Canon、Easy-WebPrint（Windows）などのアプリケーションソフトが用意されています。

■ カードスロットをメモリーカード用ドライブに使用！

プリンタのカードスロットを、パソコンのメモリーカード用ドライブとして設定でき、メモリーカードへの書き込みも可能です。
カードスロットがコンパクトフラッシュカード、マイクロドライブ、スマートメディア、メモリースティック、SD メモリーカード、マルチメディアカードなどに対応したドライブに変身！

本プリンタに対応するメモリーカードについては、『ダイレクトプリントガイド』の「使用できるメモリーカードについて」（P.7）を参照してください。

カードスロットを [書き込み可能] に設定すると、メモリーカードから印刷できなくなります。
メモリーカードへの書き込み操作が終了したら、［書き込み禁止］に設定を戻してください。
操作方法については、『ダイレクトプリントガイド』の「カードスロットをパソコンのドライブに設定する」（P.52）を参照してください。

各部の名称と役割

前面

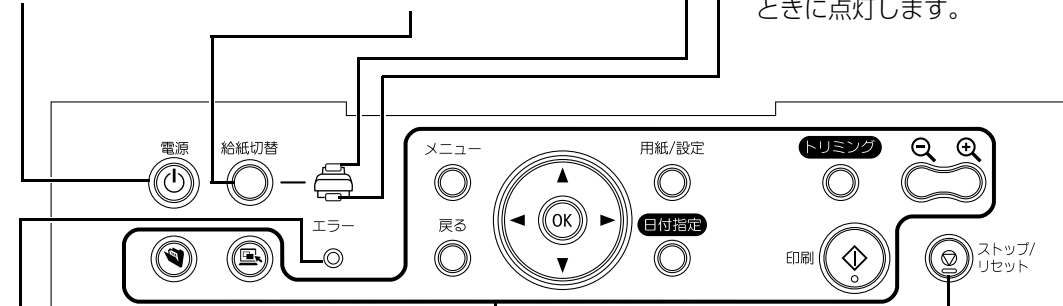
液晶モニター
ダイレクト印刷を行うときに、印刷する画像や、メニュー、設定項目が表示されます。プリンタの電源を入れた状態で5分以上操作パネルでボタン操作を行わない場合、液晶モニターがスリープモードになり、画面が消えます。OK ボタンを押すとスリープモードは解除され、画面は元に戻ります。
用紙ガイド
用紙をセットしたときに、つまんで動かし、用紙の左端に合わせます。
カバー
インクタンクの交換や紙づまりのときに開けます。
CD-R トレイガイド
CD-R トレイをセットします。DVD/CD に印刷するときに手前に倒してください。
用紙サポート
セットした用紙を支えます。用紙をセットする前に引き出してください。
給紙口カバー
オートシートフィーダに用紙をセットするときに開けます。
カバーガイド
用紙をセットしたとき、用紙の右側を合わせます。
オートシートフィーダ
さまざまな用紙をセットできます。一度に複数枚の用紙がセットでき、自動的に一枚ずつ給紙されます。
操作パネル ➔ P.10
カードスロット
カメラ接続部
赤外線通信ポート
➔ P.10
排紙トレイ
印刷された用紙が排出されます。印刷する前に開いてください。
カセット
（排紙トレイの下にあります）
よく使う用紙をセットして、プリンタに差し込みます。一度に複数枚の用紙がセットでき、自動的に一枚ずつ給紙されます。
* シール用紙、名刺サイズ用紙、カードサイズの用紙はカセットからは給紙できません。

操作パネルとカードスロット

電源ボタン
電源を入れる／切るときに押します。

電源ランプ
点灯／点滅し、電源のオン／オフの状態を知らせます。

給紙切替ボタン
給紙箇所を切り替えるときに押します。ボタンを押すたびにオートシートフィーダとカセットが切り替わります。

オートシートフィーダランプ
オートシートフィーダが選ばれているときに点灯します。

カセットランプ
カセットが選ばれているときに点灯します。

エラーランプ
プリンタにトラブルが起こっていることを知らせます。

各部の名称と役割については、『ダイレクトプリントガイド』の「各部の名称とメニュー項目について」の「操作パネルの名称と役割」（P.4）を参照してください。

ストップ / リセットボタン
印刷中にこのボタンを押すと、印刷を中止します。

カードスロット
メモリーカードをセットします。
セット方法については、『ダイレクトプリントガイド』の「メモリーカードをセットする」（P.8）を参照してください。

カードスロットカバー
メモリーカードをセットするときに開けます。

アクセスランプ
メモリーカードをセットすると点灯し、読み取り／書き込み中は点滅します。

赤外線通信ポート
赤外線通信で携帯電話から送られてきた画像データを受信します。
携帯電話の写真を印刷する方法については、『ダイレクトプリントガイド』の「ワイヤレス通信で印刷してみよう」（P.45）を参照してください。

カメラ接続部
PictBridgeに対応したデジタルカメラやデジタルビデオカメラから直接印刷するときに使います。
デジタルカメラの写真を印刷する方法については、『ダイレクトプリントガイド』の「デジタルカメラから直接印刷してみよう」（P.40）を参照してください。
また、オプションの Bluetooth ユニット BU-20 を取り付けることもできます。詳しくは『Bluetooth ユーザーズガイド』（電子マニュアル）を参照してください。

電源ランプ／エラーランプの表示について

電源ランプ／エラーランプの表示により、プリンタの状態を確認できます。

電源ランプが消灯 ....電源がオフの状態です。

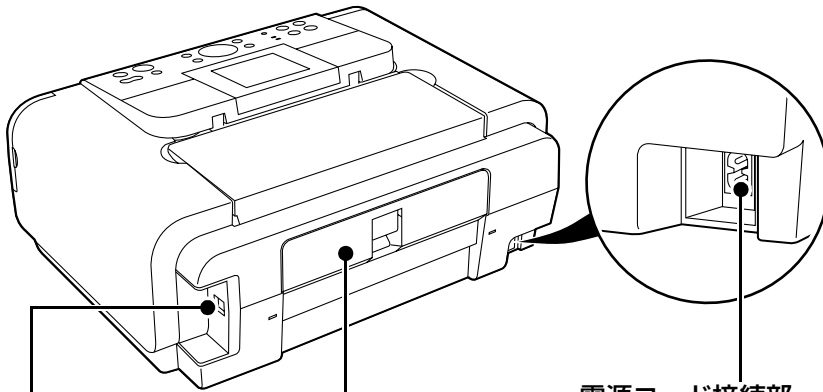
電源ランプが点灯 ....印刷可能な状態、印刷中、またはプリンタの動作中です。

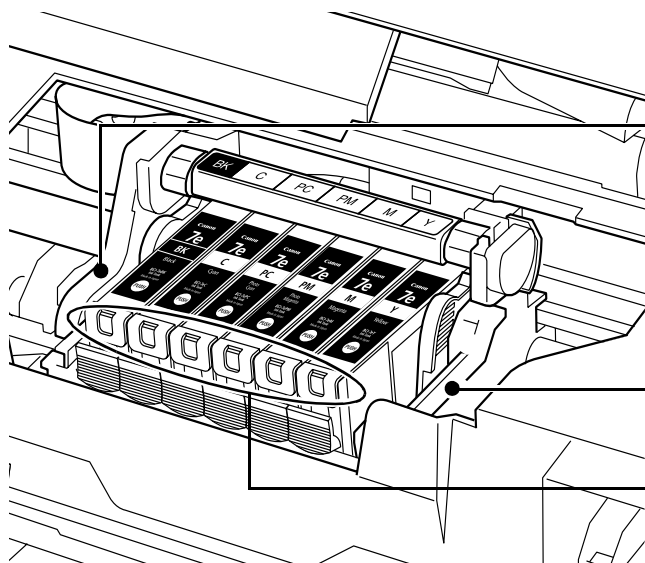
電源ランプが点滅 ....プリンタの電源オン、またはオフの処理中です。

エラーランプが点灯 ....エラーが発生し、印刷できない状態です。➔『ダイレクトプリントガイド』の「液晶モニターにエラーメッセージが表示されている」（P.64）

電源ランプとエラーランプが交互に一回ずつ点滅

.................................サービスが必要なエラーが発生している可能性があります。➔ P.61

背面

内部

参考

● プリントヘッドとインクタンクの取付方法は、『かんたんスタートガイド』（本体設置編）を参照してください。

インクランプの表示について

● インクランプの表示により、インクタンクの状態を確認できます。

点灯..印刷可能な状態です。

ゆっくり点滅（約 3 秒間隔）...インクが少なくなっています。印刷を続行することはできますが、交換用インクタンクのご用意をお勧めします。➔ P.48

はやく点滅（約 1 秒間隔）.......インクがなくなっているか、エラーが発生し、印刷できない状態です。➔『ダイレクトプリントガイド』の「液晶モニターにエラーメッセージが表示されている」（P.64）

消灯..インクタンクが正しく取り付けられているか確認してください。インクタンクを取り付け直してもインクランプが消灯している場合は、エラーが発生し、印刷できない状態です。➔『ダイレクトプリントガイド』の「液晶モニターにエラーメッセージが表示されている」（P.64）

プリンタの電源を入れる／切る

印刷を開始する前に、プリンタの電源を入れます。

電源を入れる

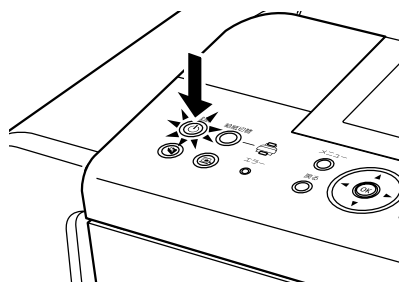
電源を入れる前に、以下の準備が終わっていることを確認してください。

- プリントヘッドとインクタンクがセットされている。
- パソコン（接続機器）と接続されている。
- プリンタドライバがインストールされている。

上記の準備操作が行われていない場合は、『かんたんスタートガイド』にしたがって準備してください。

1 プリンタの電源ボタンを押して電源を入れる

電源ランプが点滅後、点灯します。

参考

エラーランプが点灯した場合は、『ダイレクトプリントガイド』の「液晶モニターにエラーメッセージが表示されている」（P.64）を参照してください。

2 パソコンの電源を入れる

電源を切る

1 プリンタの電源ボタンを押して電源を切る

電源ランプの点滅が終わると電源が切れます。

電源プラグについて

電源を切ったあと、電源プラグを抜くときは、必ず電源ランプが消灯していることを確認してください。電源ランプが点灯・点滅しているときに、電源プラグをコンセントから抜くと、その後印刷できなくなることがあります。

➔「きれいな印刷を保つために（プリントヘッドの乾燥・目づまり防止）」『ダイレクトプリントガイド』（P.57）

用紙をセットする

印刷する用紙をオートシートフィーダまたはカセットにセットする方法について説明します。

使用できない用紙について

以下の用紙は使用しないでください。きれいに印刷できないだけでなく、紙づまりや故障の原因になります。

- 折れている／反りのある／しわがついている用紙
- 濡れている用紙
- 薄すぎる用紙（重さ 64 g/m^2 未満）
- 厚すぎる用紙（キヤノン純正紙以外で重さ 105 g/m^2 を超えるもの）

  * ただし他社製のアート紙などの場合は重さ 200 g/m^2 までお使いいただけます。詳しくは、『プリンタガイド』の「キヤノン純正紙以外の特殊な用紙」を参照してください。

- 絵はがき
- 一度折り曲げた往復はがき
- 写真付きはがきやステッカーを貼ったはがき
- ふたが二重になっている封筒
- ふたがシールになっている封筒
- 型押しやコーティングなどの加工された封筒
- 穴のあいている用紙
- 長方形以外の形状の用紙
- ステープルや粘着剤などでとじている用紙
- 粘着剤の付いた用紙
- 表面にラメなどが付いている用紙

一般のはがきより薄い紙、または普通紙やメモ用紙を裁断して A5 サイズより小さい用紙（はがき／ L 判など）に印刷するときは、プリンタドライバの［用紙の種類］で［普通紙］を選択してください。［普通紙］以外を選択すると、紙づまりの原因になります。

オートシートフィーダとカセットについて

このプリンタでは、上部のオートシートフィーダと前面のカセットの 2 つに用紙をセットできます。オートシートフィーダは、小さいサイズの用紙なども手軽にセットできるので、いろいろなサイズや種類の用紙を、頻繁に取り替えて印刷する場合に便利です。
カセットは、よく使う用紙をセットしておく使いかたができるので、印刷するたびに用紙を追加する手間を省けます。たとえば普通紙など決まった種類の用紙を頻繁にお使いになる場合に便利です。

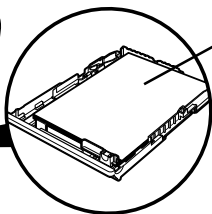
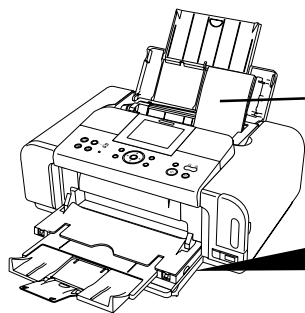
オートシートフィーダとカセットの 2 つを利用することで、次のような使いかたができます。

※ カセットからは印刷できない用紙があります。
➔ キヤノン純正紙（P.37）

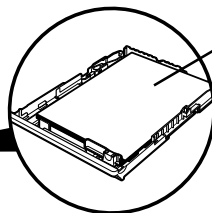
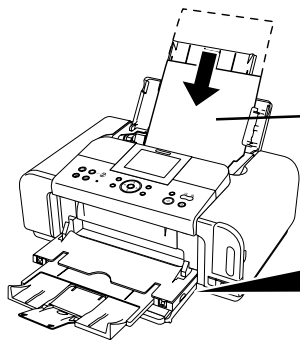
■ 異なる種類／サイズの用紙を切り替えて印刷する

例えば、一方には普通紙、もう一方には光沢紙をセットしておくと、給紙箇所を切り替えるだけで 2 種類の用紙に印刷できるので、用紙をセットし直す手間を省けます。
給紙箇所の切り替えはプリンタの給紙切替ボタンまたはプリンタドライバで行います。

また、カセットにセットする用紙のサイズと種類を、プリンタドライバであらかじめ決めておくこともできます。例えば、A4 サイズの普通紙に印刷する場合は必ずカセットから給紙するというように設定できるので、よく使う用紙をカセットに設定しておくと便利です。

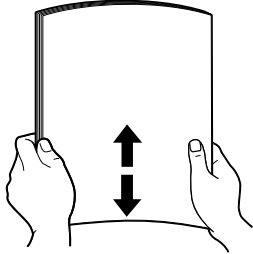
プリンタドライバの設定については『印刷設定ガイド』を参照してください。

オートシートフィーダとカセットに同じ用紙をセットして連続で印刷する

オートシートフィーダとカセットを連携させて使うことができます。印刷中にどちらか一方の用紙がなくなったら、自動的にもう一方からの給紙に切り替わるように設定できるので、大量に印刷するときに便利です。この設定はプリンタドライバで行います。

プリンタドライバの設定については『印刷設定ガイド』を参照してください。

設置場所に合わせて給紙方法を選ぶ

室内のレイアウトや設置スペースに合わせて、オートシートフィーダかカセットのどちらか一方だけを使うことができます。例えば、カセットだけを使用するようにすると、棚段のような限られたスペースの場所に置いても利用できます。

用紙サイズや種類によっては、必ずオートシートフィーダを使わなければならないものがあります。カセットだけを使用する場合は、ご利用に支障がないかあらかじめご確認ください。

➔ キヤノン純正紙（P.37）

オートシートフィーダから給紙する

■ 普通紙のセット方法

- キヤノン純正紙の紹介については「専用紙を使ってみよう」（P.36）を参照してください。
- キヤノン純正紙のセット方法については『プリンタガイド』の「いろいろな用紙に印刷してみよう」を参照してください。

1 セットする用紙をそろえる

- 用紙の端をきれいにそろえてからセットしてください。用紙の端をそろえずにセットすると、紙づまりの原因となることがあります。
- 用紙に反りがあるときは、逆向きに曲げて反りを直してから（表面が波状にならないように）セットしてください。反りの直しかたについては、「困ったときには」の「反りのある用紙を使用している」（➔ P.55）を参照してください。
- 用紙の反りを防ぐため、以下のような取り扱いをお勧めします。
  - ・使用しない用紙は、用紙が入っていたパッケージに入れて、水平にして保管してください。
  - ・印刷する直前に、印刷する枚数の用紙だけをパッケージから出して使用してください。

2 用紙をセットする準備

1 排紙トレイを開きます。

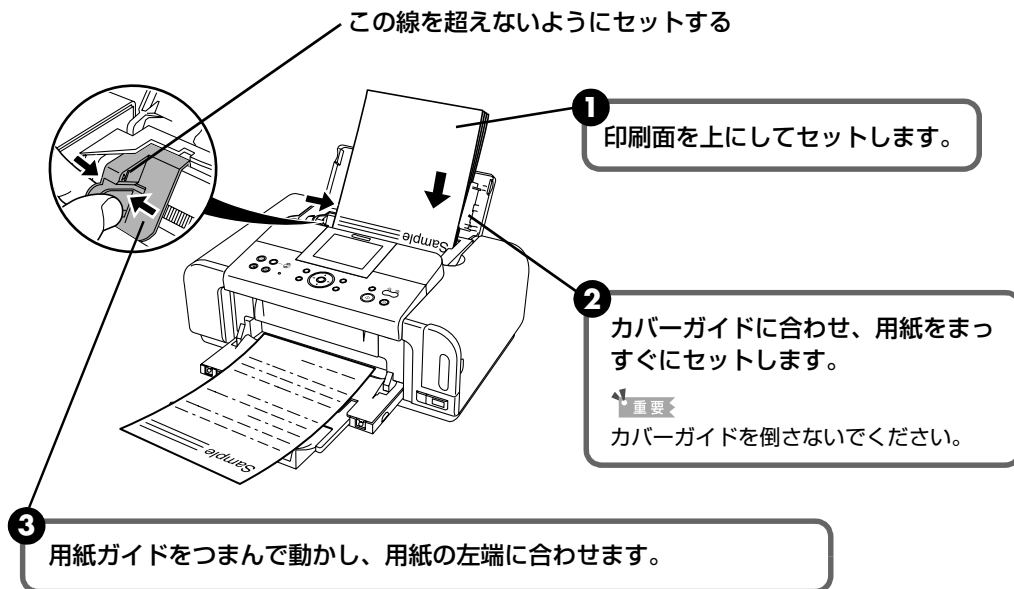
排紙トレイの両側面にあるくぼみに指をかけて、排紙トレイをゆっくり手前に開きます。

2 補助トレイを引き出します。

参考

印刷後に補助トレイをしまうときは、軽く下から持ち上げてください。

オートシートフィーダとカセットの切り替えはプリンタドライバからも設定できます。『印刷設定ガイド』を参照してください。

3 用紙をセットする

● 複写機などで使用される一般的なコピー用紙やキヤノン純正紙スーパーホワイトペーパー SW-101 が使用できます。用紙の両面に印刷する場合は、スーパーホワイトペーパー SW-201 がお勧めです。

用紙サイズ ［定型紙］ A4、B5、A5、レター、リーガル、US 4 x 6、US 4 x 8、US 5 x 7、はがき、往復はがき、封筒、L 判、2L 判、六切

［非定型紙］ 最小（横 54.0 mm ×縦 86.0 mm）、最大（横 215.9 mm ×縦 584.2 mm）

用紙の重さ 64 ～ 105 g/m^2 : キヤノン純正紙以外の普通紙の場合

* ただし他社製対応用紙（アート紙など）の場合は重さ 200 g/m^2 までお使いいただけます。詳しくは、『プリンタガイド』の「キヤノン純正紙以外の特殊な用紙」を参照してください。この重さを越える用紙（キヤノン純正紙以外）は、紙づまりの原因となりますので使用しないでください。

● 64 g/m^2 の普通紙をお使いの場合、約 150 枚（高さ 13 mm）までセットできます。ただし用紙の種類やお使いの環境（高温・多湿や低温・低湿の場合）によっては、正常に紙送りできない場合があります。この場合は、セットする枚数を約半分（高さ 5 mm 程度）に減らしてください。
64 ～ 200 g/m^2 の他社製対応用紙（アート紙など）の場合、1 枚ずつセットしてください。

● 印刷後の用紙が排紙トレイに 50 枚以上たまる前に、用紙を取り除いてください。

■ はがきのセット方法

一般のはがき、往復はがき、インクジェットはがき、インクジェット光沢はがき、年賀はがき、キヤノン純正紙プロフェッショナルフォトはがき PH-101、フォト光沢ハガキ KH-201N、ハイグレードコートはがき CH-301 に印刷できます。

重要

- 写真付きはがきやステッカーが貼ってあるはがきには印刷できません。
- 往復はがきにフチなし全面印刷はできません。
- 往復はがきは折り曲げないでください。折り目がつくと、正しく給紙できず紙づまりの原因になります。
- 一般のはがきより薄い紙、または普通紙やメモ用紙を裁断して A5 サイズより小さい用紙（はがき／ L 判など）に印刷するときは、プリンタドライバの［用紙の種類］で［普通紙］を選択してください。［普通紙］以外を選択すると、紙づまりの原因になります。

- 自動両面印刷を行う場合は、宛名面 - 通信面の順に印刷してください。はがきの両面に 1 面ずつ印刷するときは、通信面を印刷したあとに宛名面を印刷することをお勧めします。このとき、通信面の先端がめくれたり傷が付いたりする場合は、宛名面から印刷すると状態が改善することがあります。
- インクジェット光沢はがきは 20 枚、そのほかのはがきは 40 枚までセットできます（プロフェッショナルフォトはがき、フォト光沢ハガキは 20 枚、ハイグレードコートはがきは 40 枚）。
- はがきを持つときは、できるだけ端を持ち、インクが乾くまで印刷面に触らないでください。

1 カバーガイドに合わせてはがきをセットします。

印刷面を上にし、以下のように郵便番号を下にしてセットします。

重要

カバーガイドを倒さないでください。

2 用紙ガイドをつまんで動かし、はがきの左端に合わせます。

3 給紙切替ボタンを押して、オートシートフィーダランプを点灯させます。

印刷される向き

❹ プリンタドライバの［用紙の種類］で、セットしたはがきの種類を選びます。

はがきの種類	印刷面	プリンタドライバの設定
はがき **年賀はがき**	通信面	はがき
	宛名面	はがき
	両面	はがき
インクジェットはがき **インクジェット紙年賀はがき**	通信面	インクジェットはがき
	宛名面	はがき
	両面	※
インクジェット光沢はがき **写真用年賀はがき**	通信面	インクジェットはがき
	宛名面	はがき
	両面	※
往復はがき	通信面	はがき
	宛名面	はがき
	両面	はがき
プロフェッショナルフォトはがき PH-101	通信面	プロフォトペーパー
	宛名面	はがき
	両面	※
フォト光沢ハガキ KH-201N	通信面	光沢紙
	宛名面	はがき
	両面	※
ハイグレードコートはがき CH-301	通信面	インクジェットはがき
	宛名面	はがき
	両面	※

※ Windows® をお使いの場合は、『キヤノンピクサスかんたん印刷』（はがき両面印刷）に対応したアプリケーションソフトを使うことで、両面印刷ができるようになります。アプリケーションソフトについては、キヤノン PIXUS ホームページで紹介しています。canon.jp/pixus にアクセスしてください。

プリンタドライバの設定については「印刷してみよう」（P.31）を参照してください。

写真を印刷するときは、キヤノン純正の写真専用紙のご使用をお勧めします。

➔ 専用紙を使ってみよう（P.36）

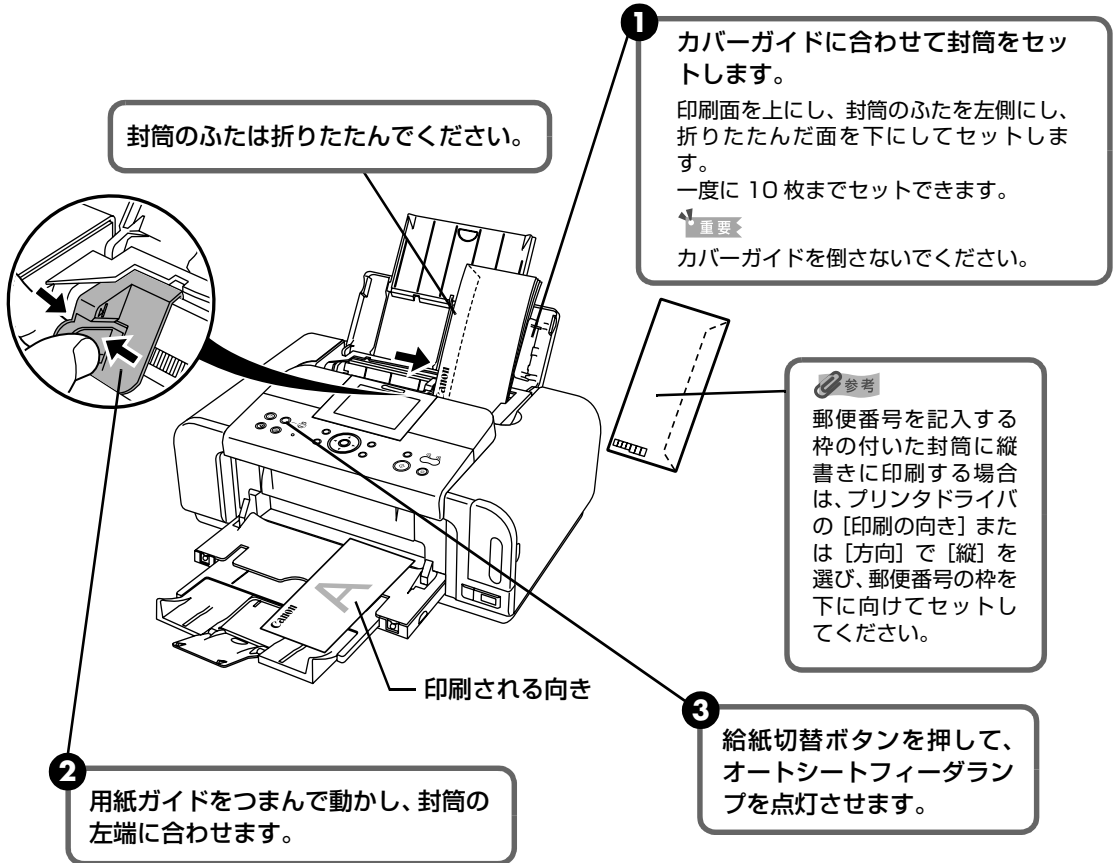
■ 封筒のセット方法

一般の長形３号、長形４号の長形封筒と、洋形４号、洋形６号の洋形封筒に印刷できます。
宛名は封筒の向きに合わせて、自動的に回転して印刷されます。

- 角形封筒には印刷できません。
- 型押しや、コーティングなどの加工された封筒、ふたが二重（またはシール）になっている封筒には印刷できません。
- Macintosh® をお使いの場合は、長形３号／４号の封筒は印刷できません。
- Windows Me/Windows 98 をお使いの場合で、長形３号／４号の封筒に印刷するときは［バックグラウンド印刷］にチェックマークを付けてください。チェックマークが付いていないと正しい向きに印刷されません。
  バックグラウンド印刷の設定を確認するには、プリンタドライバの設定画面を表示し（➔ P.40）、［ページ設定］シートの［印刷オプション］をクリックしてください。
- ［用紙サイズ］を正しく選ばないと、上下逆さまに印刷されます。
- Windows から長形封筒に宛名を横向きに印刷する場合や、特殊な封筒を使用し、印刷結果が上下逆さまになる場合は、プリンタドライバの設定画面を表示して、［ページ設定］シートの［180 度回転］にチェックマークを付けてください。

■ 長形封筒に印刷する場合

4 プリンタドライバの［用紙の種類］で［封筒］を選び、［用紙サイズ］で［長形３号］または［長形４号］を選びます。
プリンタドライバの設定については「印刷してみよう」(P.31) を参照してください。

■ 洋形封筒に印刷する場合

❹ プリンタドライバの［用紙の種類］で［封筒］を選び、［用紙サイズ］で［洋形 4 号］または［洋形 6 号］を選びます。

❺ プリンタドライバの［印刷の向き］または［方向］で［横］を選びます。
プリンタドライバの設定については「印刷してみよう」（P.31）を参照してください。

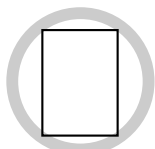
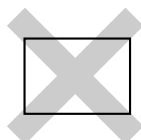
■ その他小さなサイズの用紙のセット方法

L 判、2L 判、名刺、カードサイズの用紙に印刷できます。

普通紙を L 判、2L 判、名刺、カードサイズの大きさに切って試し印刷すると、紙づまりの原因になります。

4 プリンタドライバの［用紙サイズ］で［L 判］、［2L 判］、［名刺］、または［カード］を選びます。

プリンタドライバの設定については「印刷してみよう」（P.31）を参照してください。

用紙は縦方向にセットしてください。横方向にセットすると紙づまりの原因となります。

写真を印刷するときは、キヤノン純正の写真専用紙のご使用をお勧めします。

➔ 専用紙を使ってみよう（P.36）

カセットから給紙する

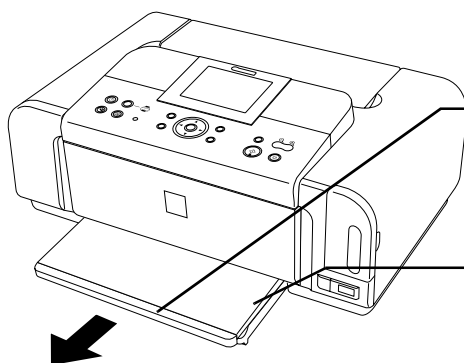
用紙のサイズと種類によっては、必ずオートシートフィーダを使わなければならないものがあります。
カセットだけを使用する場合は、ご利用に支障がないかあらかじめご確認ください。

➔ キヤノン純正紙（P.37）

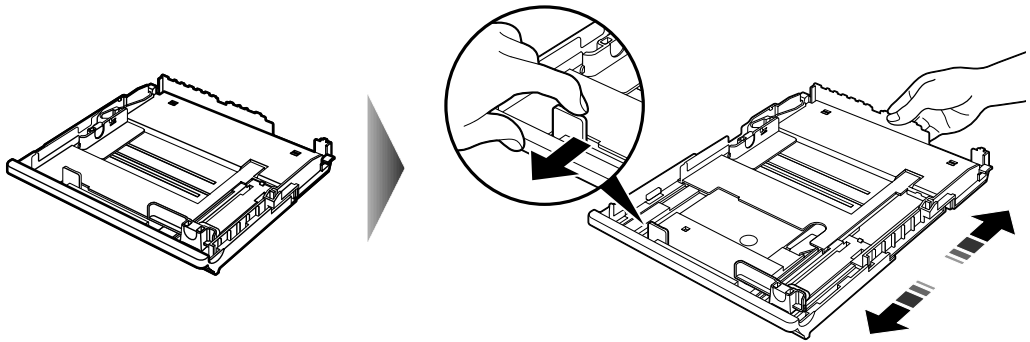
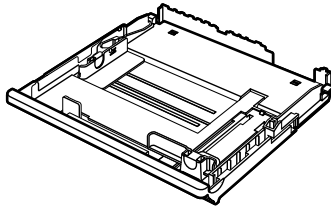
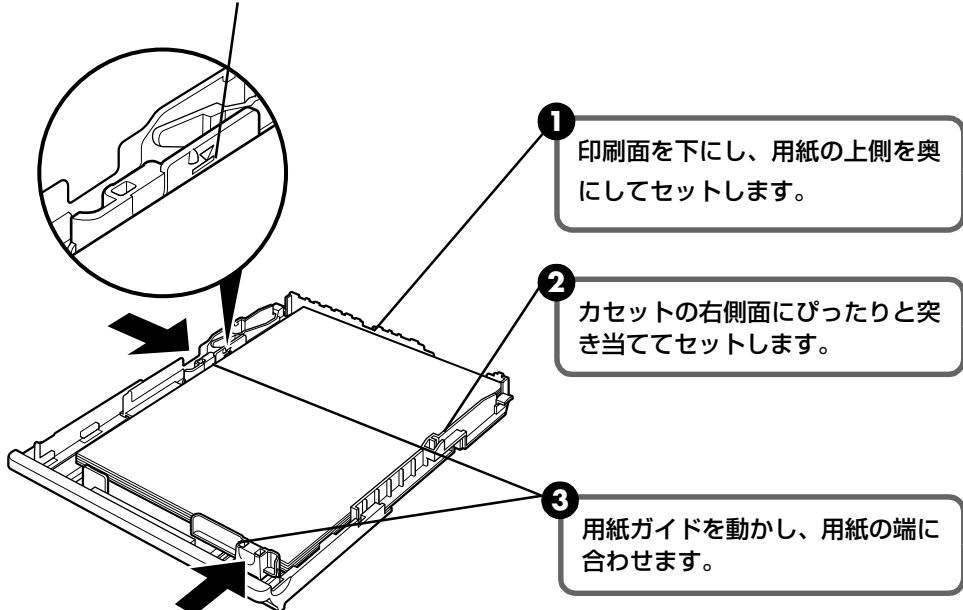
■ 普通紙のセット方法

- キヤノン純正紙の紹介については「専用紙を使ってみよう」（P.36）を参照してください。
- キヤノン純正紙のセット方法については『プリンタガイド』の「いろいろな用紙に印刷してみよう」を参照してください。

1 セットする用紙をそろえる

- 用紙の端をきれいにそろえてからセットしてください。用紙の端をそろえずにセットすると、紙づまりの原因となることがあります。
- 用紙に反りがあるときは、逆向きに曲げて反りを直してから（表面が波状にならないように）セットしてください。反りの直しかたについては、「困ったときには」の「反りのある用紙を使用している」（➔ P.55）を参照してください。
- 用紙の反りを防ぐため、以下のような取り扱いをお勧めします。
  - ・使用しない用紙は、用紙が入っていたパッケージに入れて、水平にして保管してください。
  - ・印刷する直前に、印刷する枚数の用紙だけをパッケージから出して使用してください。

2 用紙をセットする準備

3 カセットのサイズを調整する

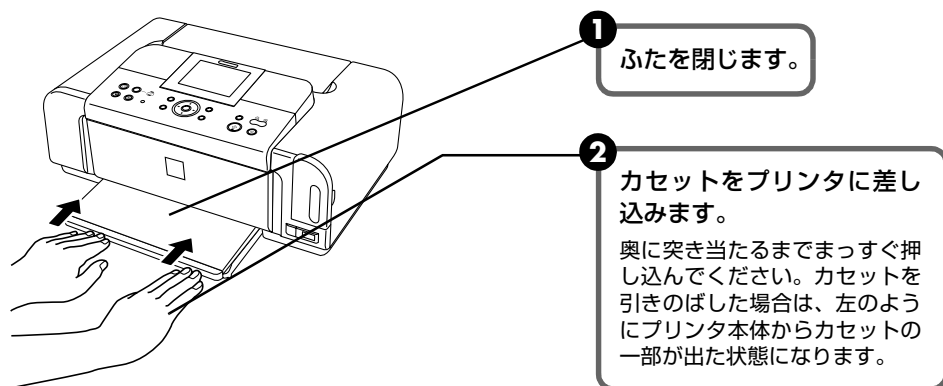
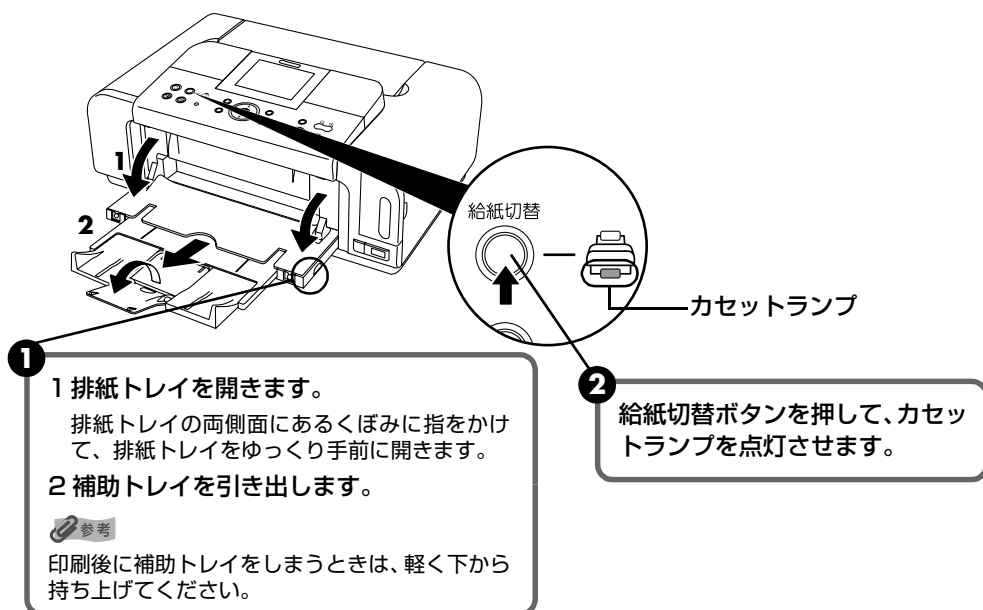
A5 サイズ以上のとき（非定型紙の場合は長さ 203 mm 以上）

2L 判サイズ以下のとき（非定型紙の場合は長さ 202 mm 以下）

4 用紙をセットする（印刷面を下にする）

● 複写機などで使用される一般的なコピー用紙やキヤノン純正紙スーパーホワイトペーパー SW-101 が使用できます。用紙の両面に印刷する場合は、スーパーホワイトペーパー SW-201 がお勧めです。

用紙サイズ ［定型紙］ A4、B5、A5、レター、US 4 x 6、US 4 x 8、US 5 x 7、はがき、往復はがき、封筒、L 判、2L 判、六切

［非定型紙］ 最小（横 89.0 mm ×縦 127.0 mm）、最大（横 215.9 mm ×縦 297.0 mm）

用紙の重さ 64 ～ 105 g/m^2

● 64 g/m^2 で約 150 枚（高さ 13 mm）までセットできます。ただし排紙トレイに 50 枚程度たまったら取り除くようにしてください。

5 カセットをプリンタにセットする

6 排紙トレイをセットする

オートシートフィーダとカセットの切り替えはプリンタドライバからも設定できます。『印刷設定ガイド』を参照してください。

■ はがきのセット方法

一般のはがき、往復はがき、インクジェットはがき、インクジェット光沢はがき、年賀はがき、キヤノン純正紙プロフェッショナルフォトはがき PH-101、フォト光沢ハガキ KH-201N、ハイグレードコートはがき CH-301 に印刷できます。

重要

- プロフェッショナルフォトはがきなどの写真専用紙をお使いの場合、カセットに用紙をセットしたままにしないでください。用紙が変色することがあります。
- 写真付きはがきやステッカーが貼ってあるはがきには印刷できません。
- 往復はがきにフチなし全面印刷はできません。
- 往復はがきは折り曲げないでください。折り目がつくと、正しく給紙できず紙づまりの原因になります。
- 普通紙をはがきの大きさに切って試し印刷すると、紙づまりの原因になります。

参考

- 自動両面印刷を行う場合は、宛名面 - 通信面の順に印刷してください。はがきの両面に 1 面ずつ印刷するときは、通信面を印刷したあとに宛名面を印刷することをお勧めします。このとき、通信面の先端がめくれたり傷が付いたりする場合は、宛名面から印刷すると状態が改善することがあります。
- インクジェット光沢はがきは 20 枚、そのほかのはがきは 40 枚までセットできます（プロフェッショナルフォトはがき、フォト光沢ハガキは 20 枚、ハイグレードコートはがきは 40 枚）。
- はがきを持つときは、できるだけ端を持ち、インクが乾くまで印刷面に触らないでください。

4 プリンタドライバの［用紙の種類］で、セットしたはがきの種類を選びます。

はがきの種類	印刷面	プリンタドライバの設定
はがき 年賀はがき	通信面	はがき
	宛名面	はがき
	両面	はがき
インクジェットはがき インクジェット紙年賀はがき	通信面	インクジェットはがき
	宛名面	はがき
	両面	※
インクジェット光沢はがき 写真用年賀はがき	通信面	インクジェットはがき
	宛名面	はがき
	両面	※
往復はがき	通信面	はがき
	宛名面	はがき
	両面	はがき
プロフェッショナルフォトはがき PH-101	通信面	プロフォトペーパー
	宛名面	はがき
	両面	※
フォト光沢ハガキ KH-201N	通信面	光沢紙
	宛名面	はがき
	両面	※
ハイグレードコートはがき CH-301	通信面	インクジェットはがき
	宛名面	はがき
	両面	※

※ Windows をお使いの場合は、『キヤノンピクサスかんたん印刷』（はがき両面印刷）に対応したアプリケーションソフトを使うことで、両面印刷ができるようになります。アプリケーションソフトについては、キヤノン PIXUS ホームページで紹介しています。canon.jp/pixus にアクセスしてください。

プリンタドライバの設定については「印刷してみよう」（P.31）を参照してください。

写真を印刷するときは、キヤノン純正の写真専用紙のご使用をお勧めします。

➔ 専用紙を使ってみよう（P.36）

■ 封筒のセット方法

一般の長形 3 号、長形 4 号の長形封筒と、洋形 4 号、洋形 6 号の洋形封筒に印刷できます。
宛名は封筒の向きに合わせて、自動的に回転して印刷されます。

- 角形封筒には印刷できません。
- 型押しや、コーティングなどの加工された封筒、ふたが二重（またはシール）になっている封筒には印刷できません。
- Macintosh をお使いの場合は、長形 3 号／ 4 号の封筒は印刷できません。
- Windows Me/Windows 98 をお使いの場合で、長形 3 号／ 4 号の封筒に印刷するときは［バックグラウンド印刷］にチェックマークを付けてください。チェックマークが付いていないと正しい向きに印刷されません。
  バックグラウンド印刷の設定を確認するには、プリンタドライバの設定画面を表示し（➔ P.40）、［ページ設定］シートの［印刷オプション］をクリックしてください。
- ［用紙サイズ］を正しく選ばないと、上下逆さまに印刷されます。
- Windows から長形封筒に宛名を横向きに印刷する場合や、特殊な封筒を使用し、印刷結果が上下逆さまになる場合は、プリンタドライバの設定画面を表示して、［ページ設定］シートの［180 度回転］にチェックマークを付けてください。

■ 長形封筒に印刷する場合

1 カセットの右側面にぴったりと突き当ててセットします。

印刷面を下にし、封筒のふたを伸ばしてから、ふたが手前になるようにセットします。
一度に 5 枚までセットできます。

封筒のふたは閉じないでください。

2 用紙ガイドを動かし、封筒の端に合わせます。

3 給紙切替ボタンを押して、カセットランプを点灯させます。

給紙切替

カセットランプ

印刷される向き

❹ プリンタドライバの［用紙の種類］で［封筒］を選び、［用紙サイズ］で［長形３号］または［長形４号］を選びます。
プリンタドライバの設定については「印刷してみよう」（P.31）を参照してください。

■ **洋形封筒に印刷する場合**

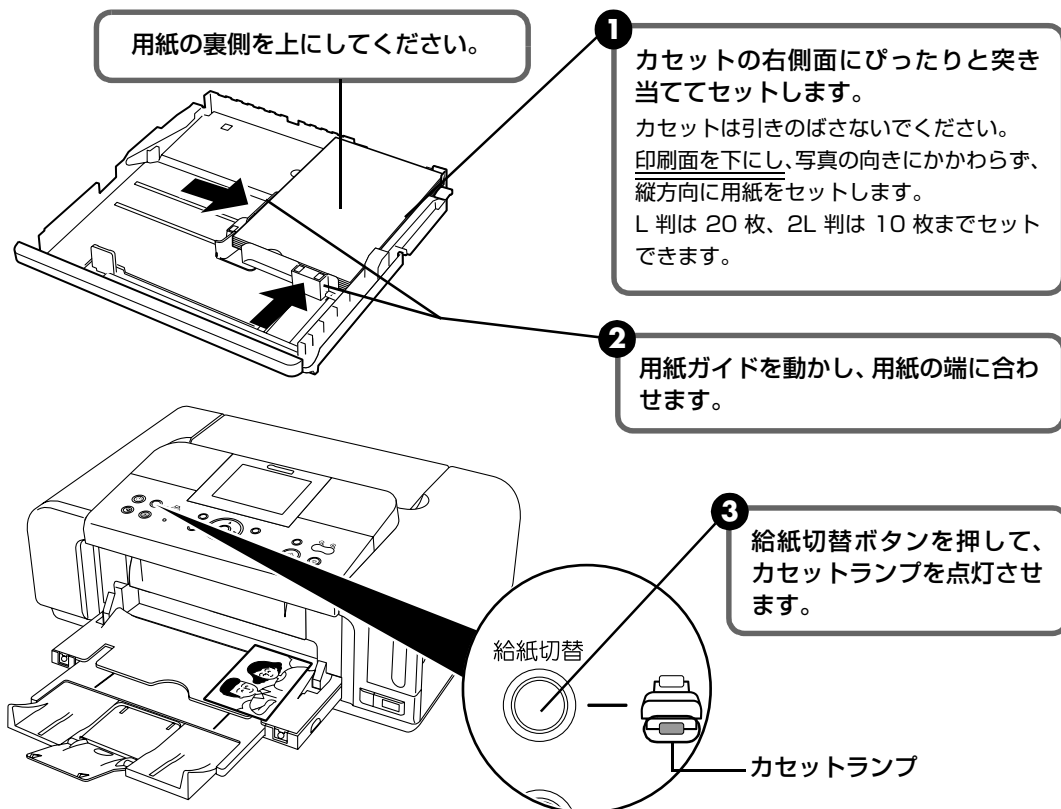
❹ プリンタドライバの［用紙の種類］で［封筒］を選び、［用紙サイズ］で［洋形４号］または［洋形６号］を選びます。

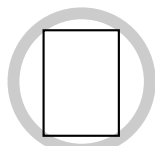
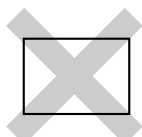
❺ プリンタドライバの［印刷の向き］または［方向］で［横］を選びます。
プリンタドライバの設定については「印刷してみよう」（P.31）を参照してください。

■ L 判、2L 判サイズの用紙のセット方法

L 判、2L 判サイズの用紙に印刷できます。

重要

- プロフェッショナルフォトペーパーなどの写真専用紙をお使いの場合、カセットに用紙をセットしたままにしないでください。用紙が変色することがあります。
- 普通紙を L 判、2L 判の大きさに切って試し印刷すると、紙づまりの原因になります。

4 プリンタドライバの［用紙サイズ］で［L 判］または［2L 判］を選びます。
プリンタドライバの設定については「印刷してみよう」（P.31）を参照してください。

用紙は縦方向にセットしてください。横方向にセットすると紙づまりの原因となります。

写真を印刷するときは、キヤノン純正の写真専用紙のご使用をお勧めします。

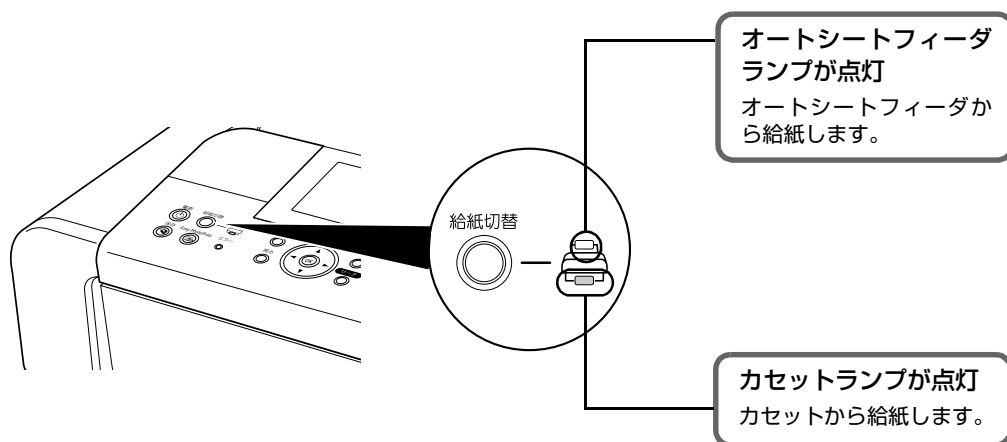
➔ 専用紙を使ってみよう（P.36）

印刷してみよう

ここでは、印刷の基本的な操作手順について説明します。写真を印刷する場合は、『セットアップCD-ROM』に付属の Easy-PhotoPrint を使って、簡単な操作で印刷することができます。詳しくは『アプリケーションガイド』を参照してください。

Windows

お使いのアプリケーションソフトによっては、コマンド名やメニュー名が異なったり、手順が多い場合があります。
詳しい操作方法については、お使いのアプリケーションソフトの取扱説明書を参照してください。
なお、本書では Windows XP Service Pack 2 セキュリティ強化機能搭載（以降、Windows XP SP2）をご使用の場合に表示される画面を基本に説明します。

1 プリンタの電源を入れ、用紙をセットする → P.13、→ P.14

2 給紙箇所を確認する

オートシートフィーダに用紙をセットしている場合はオートシートフィーダランプが点灯、カセットに用紙をセットしている場合はカセットランプが点灯するように、給紙切替ボタンで設定してください。

3 アプリケーションソフトを起動して原稿を作成する、または印刷するファイルを開く

4 プリンタドライバの設定画面を開く

❶ アプリケーションソフトの［ファイル］メニューから［印刷］を選びます。
［印刷］画面が表示されます。

❷ ご使用の機種が選ばれていることを確認します。

参考

別のプリンタ名が選ばれている場合は、ご使用の機種名をクリックしてください。

❸ ［詳細設定］（または［プロパティ］）ボタンをクリックします。

［印刷設定］画面の［基本設定］シートが表示されます。

5 印刷に必要な設定をする

❶ ［用紙の種類］で印刷に使用する用紙の種類を選びます。

［給紙方法］が［給紙切替ボタンに従う］になっていることを確認します。

❷ ［印刷品質］や［色 / 濃度］で印刷品位などを設定します。

参考

印刷設定については、『印刷設定ガイド』を参照してください。

❸ ［OK］ボタンをクリックします。

［印刷］画面が表示されます。

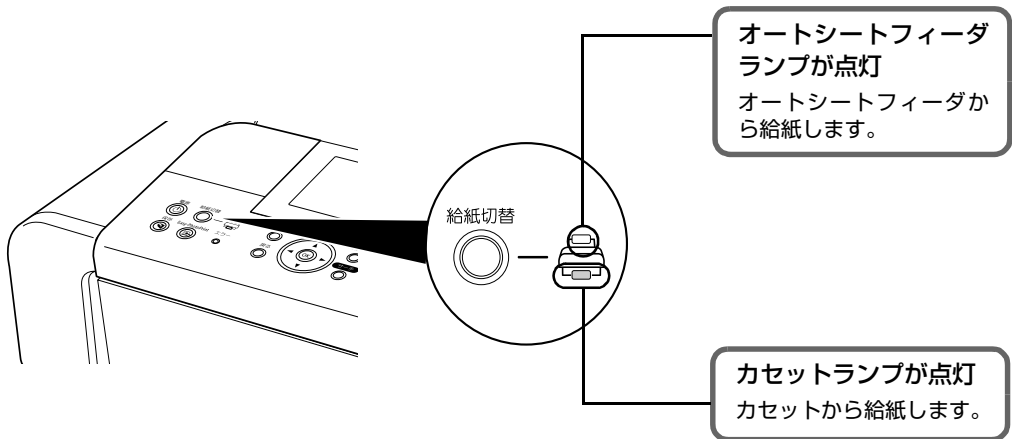
- 用紙サイズを確認するときは、［ページ設定］タブをクリックします。アプリケーションソフトで設定したサイズと異なっている場合は、同じサイズに設定するか、拡大 / 縮小印刷またはフィットページ印刷を行う必要があります。詳しくは『印刷設定ガイド』をご覧ください。
- ここでは［給紙方法］で［給紙切替ボタンに従う］を選んだ場合について説明しています。その他の［給紙方法］については、『印刷設定ガイド』を参照してください。
- プリンタドライバ機能の設定方法については、［ヘルプ］ボタンや［操作説明］ボタンをクリックして、ヘルプや『印刷設定ガイド』を参照してください。［操作説明］ボタンは、プリンタドライバの［基本設定］シートおよび［ユーティリティ］シートに表示されます。ただし、電子マニュアル（取扱説明書）がパソコンにインストールされている必要があります。
- ［印刷前にプレビューを表示］をクリックしてチェックマークを付けると、プレビュー画面で印刷結果を確認することができます。なお、アプリケーションソフトによっては、プレビューを表示できないものもあります。

6 印刷を開始する

- 印刷中にプリンタのストップ / リセットボタンを押すと、印刷を中止することができます。
- Canon IJ ステータスモニタの［印刷中止］をクリックして印刷を中止できます。
  Canon IJ ステータスモニタは、タスクバー上の［Canon iP6700D］をクリックして表示します。

Macintosh

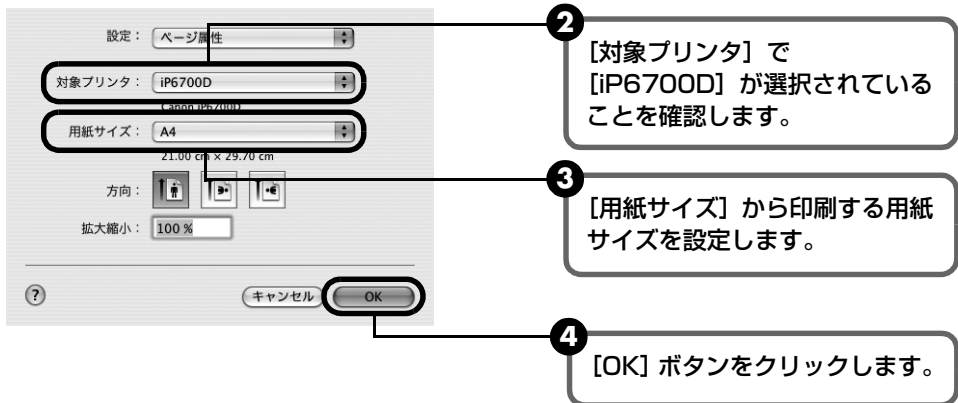
お使いのアプリケーションソフトによっては、コマンド名やメニュー名が異なったり、手順が多い場合があります。
詳しい操作方法については、お使いのアプリケーションソフトの取扱説明書を参照してください。
なお、本書では Mac OS® X v.10.4.x をご使用の場合に表示される画面を基本に説明しています。

1 プリンタの電源を入れ、用紙をセットする → P.13、→ P.14

2 給紙箇所を確認する

オートシートフィーダに用紙をセットしている場合はオートシートフィーダランプが点灯、カセットに用紙をセットしている場合はカセットランプが点灯するように、給紙切替ボタンで設定してください。

3 アプリケーションソフトを起動して原稿を作成する、または印刷するファイルを開く

4 用紙サイズを設定する

❶ アプリケーションソフトの［ファイル］メニューから［ページ設定］を選びます。
ページ設定ダイアログが表示されます。

5 印刷に必要な設定をする

❶ アプリケーションソフトの［ファイル］メニューから［プリント］を選びます。
プリントダイアログが表示されます。

● ここでは［給紙方法］で［給紙切替ボタンに従う］を選んだ場合について説明しています。その他の［給紙方法］については、『印刷設定ガイド』を参照してください。
● ［印刷設定］から印刷する原稿に適した設定を選択すると、［用紙の種類］で設定した用紙の特性に合わせた印刷品位や色で印刷できます。

写真をきれいに印刷	写真やグラデーションを多用したイラストを印刷するときに選びます。
図表やグラフをきれいに印刷	イラストやグラフなど色の境界線がハッキリした原稿を印刷するときに選びます。
一般的な文書を印刷	文字中心の原稿を印刷するときに選びます。
詳細設定	印刷品位やハーフトーン（中間調）に関する詳細な設定を行うことができます。

● プリンタドライバ機能の設定方法については、プリントダイアログの［品位と用紙の種類］、［カラーオプション］、［特殊効果］、［フチなし全面印刷］または［両面印刷ととじしろ］の ? ボタンをクリックして『印刷設定ガイド』を参照してください。『印刷設定ガイド』は、電子マニュアル（取扱説明書）がインストールされていないと、? ボタンをクリックしても表示されません。
● ［プレビュー］ボタンをクリックすると、プレビュー画面で印刷結果を確認することができます。なお、アプリケーションソフトによっては、プレビューを表示できないものもあります。

6 印刷を開始する

❶ ［プリント］ボタンをクリックします。
印刷が開始されます。印刷中はカバーを開けないでください。

Dock 内にあるプリンタのアイコンをクリックすると、印刷状況を確認するダイアログが表示されます。Mac OS X v.10.2.8 をお使いの場合は、Dock 内にあるプリンタのアイコンをクリックしてプリントセンターを起動し、プリンタリストの機種名をダブルクリックしてください。印刷状況のリストで文書を選んで［削除］をクリックすると、その文書の印刷を中止できます。［保留］をクリックすると、その文書の印刷を停止できます。また、［ジョブを停止］をクリックすると、リストにあるすべての印刷を停止できます。

専用紙を使ってみよう

印刷に適した用紙を選ぶ

写真や文書のための用紙はもちろん、シール用紙やはがきなど、印刷の楽しさを広げる各種専用紙が用意されています。
それぞれの用紙について詳しくは、『プリンタガイド』を参照してください。

■ 写真を印刷するには

- 高品位専用紙
- エコノミーフォトペーパー
- キヤノン光沢紙
- スーパーフォトペーパー
- キヤノン写真用紙・絹目調
- スーパーフォトペーパー・両面
- プロフェッショナルフォトペーパー
- マットフォトペーパー
- ファインアートペーパー・“Photo Rag”

■ ビジネス文書を印刷するには

- 高品位専用紙

■ オリジナルグッズを作るには

- Tシャツ転写紙
- ピクサスプチシール
- ピクサスプチシール・フリーカット
- フォトシールセット
- 片面光沢名刺用紙
- 両面マット名刺用紙

■ 年賀状、挨拶状を印刷するには

- ハイグレードコートはがき
- フォト光沢ハガキ
- プロフェッショナルフォトはがき

キャノン純正紙

キヤノン純正紙を一覧表にまとめました。

用紙の名称	型番	最大積載枚数		プリンタドライバの設定［用紙の種類］
		オートシートフィーダ	カセット	
高品位専用紙	HR-101S A4 HR-101S B5	約 80 枚	約 80 枚	高品位専用紙
スーパーホワイトペーパー	SW-101 SW-201	厚さ 13 mm 以下	厚さ 13 mm 以下	普通紙
ハイグレードコートはがき	CH-301	40 枚	40 枚	インクジェットはがき（通信面） はがき（宛名面）
フォト光沢ハガキ	KH-201N	20 枚	20 枚	光沢紙（通信面） はがき（宛名面）
プロフェッショナルフォトはがき *1	PH-101	20 枚	20 枚	プロフォトペーパー（通信面） はがき（宛名面）
エコノミーフォトペーパー	EC-101 L EC-101 2L EC-101 カード EC-201 L	20 枚 10 枚 20 枚 20 枚	20 枚 10 枚 使用できません *4 20 枚	光沢紙
キヤノン光沢紙	GP-401 A4	10 枚	10 枚	光沢紙
スーパーフォトペーパー *1	SP-101 A4 SP-101 L SP-101 2L	10 枚 20 枚 10 枚	10 枚 20 枚 10 枚	スーパーフォトペーパー
キヤノン写真用紙･絹目調 *1	SG-201 A4 SG-201 L SG-201 2L SG-201 六切	10 枚 20 枚 10 枚 10 枚	10 枚 20 枚 10 枚 10 枚	スーパーフォトペーパー
スーパーフォトペーパー・両面 *1	SP-101D A4 SP-101D 2L	10 枚 10 枚	10 枚 10 枚	スーパーフォトペーパー両面
プロフェッショナルフォトペーパー *1	PR-101 A4 PR-101 L PR-101 2L PR-101 六切	10 枚 20 枚 10 枚 10 枚	10 枚 20 枚 10 枚 10 枚	プロフォトペーパー
マットフォトペーパー	MP-101 A4 MP-101 L	10 枚 20 枚	10 枚 20 枚	マットフォトペーパー
ファインアートペーパー“Photo Rag”*5*6	FA-PR1 A4	1 枚	使用できません *4	ファインアート Photo Rag
T シャツ転写紙	TR-301	1 枚	1 枚	T シャツ転写紙
ピクサスプチシール *3*7（16 面光沢フォトシール）	PS-101	1 枚	使用できません *4	インクジェットはがきまたはスーパーフォトペーパー
ピクサスプチシール・フリーカット *7	PS-201	1 枚	使用できません *4	インクジェットはがきまたはスーパーフォトペーパー
フォトシールセット *3*7（2 面 /4 面 /9 面 /16 面）	PSHRS	1 枚	使用できません *4	インクジェットはがきまたはスーパーフォトペーパー
片面光沢名刺用紙 *2	KM-101	20 枚	使用できません *4	スーパーフォトペーパー

用紙の名称	型番	最大積載枚数		プリンタドライバの設定 [用紙の種類]
		オートシートフィーダ	カセット	
両面マット名刺用紙 *3	MM-101	20 枚	使用できません *5	スーパーフォトペーパー （写真・イラスト） 普通紙（文字）

*1 用紙を重ねてセットすると、用紙を引き込む際に印刷面に跡がついてしまう場合があります。その場合は、用紙を 1 枚ずつセットしてください。

*2 テキストデータを印刷する場合、データは名刺サイズ（55 × 91 mm）で作成し、上下左右の余白を 5 mm 程度に設定してください。詳しくは『プリンタガイド』を参照してください。

*3『セットアップ CD-ROM』に付属の Easy-PhotoPrint を使うと印刷の設定が簡単にできます。パソコンにインストールしてお使いください。

*4 カセットから給紙した場合、故障の原因になることがあります。必ずオートシートフィーダにセットしてください。

*5 キヤノン純正紙は最適な印刷品質を得られるように製造・管理されています。キヤノン純正紙のご使用をお勧めします。

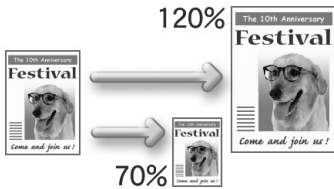
*6 ファインアートペーパーをお使いの場合は、用紙の上下端 35 mm は印刷されません。ファインアートペーパー専用の用紙サイズを選択すると、上下端 35 mm には印刷しないように制限がかかります。印刷を行う前に印刷内容をプレビュー画面に表示させて印刷範囲を確認することをお勧めします。プレビューについて、詳しくは『印刷設定ガイド』を参照してください。

*7 メモリーカードに保存されている写真は、パソコンを使わずにシール紙に印刷することができます。シール紙への印刷について、詳しくは『ダイレクトプリントガイド』の「シール紙に印刷する ― シール紙印刷」（P.30）を参照してください。

用紙について、詳しくは『プリンタガイド』の「いろいろな用紙に印刷してみよう」を参照してください。

プリンタドライバの機能と開きかた

プリンタドライバの便利な機能

プリンタドライバには、以下のような機能があります。詳しい操作方法については、『印刷設定ガイド』を参照してください。

➔ 用紙サイズに合わせて自動的に拡大／縮小印刷したい（フィットページ印刷）

➔ 1 枚の用紙に複数ページを縮小して印刷したい（割付印刷）

➔ 両面に印刷したい（両面印刷）

➔ スタンプを印刷したい（スタンプ印刷）

➔ フチを付けずに用紙の全面に印刷したい（フチなし全面印刷）

➔ 画像の輪郭をなめらかに印刷したい（イメージデータ補正）

➔ 1 ページの原稿を指定枚数に拡大して印刷したい（ポスター印刷）

➔ とじしろをつけて印刷したい（とじしろ印刷）

➔ イラスト風に印刷したい（イラストタッチ印刷）

➔ 印刷する順番を変えたい（最終ページから印刷）

➔ デジタルカメラで撮った写真のノイズを減らして印刷したい（デジタルカメラノイズリダクション）

➔ 拡大／縮小率を設定して印刷したい（拡大／縮小印刷）

➔ 複数ページの原稿を冊子に綴じられるように印刷したい（冊子印刷）

➔ 背景に模様を付けて印刷したい（背景印刷）

➔ 印刷するときの動作音を静かにしたい（サイレント機能）

OS によって、使用できない機能もあります。詳しくは『印刷設定ガイド』を参照してください。

プリンタドライバの設定画面を表示する（Windows）

プリンタドライバの設定画面は、以下の２つの方法で表示することができます。

マイプリンタから開くこともできます。デスクトップ上の［マイプリンタ］アイコンをダブルクリックして表示される画面で［プリンタの設定］を選んでください。

■ アプリケーションソフトから開く

印刷する前に印刷設定を行う場合、この方法を使います。

- お使いのアプリケーションソフトによっては、コマンド名やメニュー名が異なったり、手順が多い場合があります。詳しい操作方法については、お使いのアプリケーションソフトの取扱説明書を参照してください。
- ［詳細］シートなど、Windows の機能に関するシートは、アプリケーションソフトから開いたときには表示されません。

1 お使いのアプリケーションソフトで、印刷を実行するコマンドを選ぶ

一般的に、［ファイル］メニューから［印刷］を選ぶと、［印刷］ダイアログボックスを開くことができます。

2 ［Canon iP6700D］が選ばれていることを確認し、［詳細設定］（または［プロパティ］）ボタンをクリックする

プリンタドライバの設定画面が表示されます。

■ ［スタート］メニューから開く

プリンタのメンテナンス操作を行う場合や、すべてのアプリケーションソフトに共通する印刷設定を行う場合、この方法を使います。

1 ［スタート］メニューから［コントロール パネル］→［プリンタとその他のハードウェア］→［プリンタと FAX］の順に選ぶ

Windows XP 以外をお使いの場合は、［スタート］メニューから［設定］→［プリンタ］の順に選びます。

2 ［Canon iP6700D］アイコンを選ぶ

3 ［ファイル］メニューを開き、［印刷設定］（Windows MeまたはWindows 98 をご使用の場合は［プロパティ］）を選ぶ

プリンタドライバの設定画面が表示されます。

DVD/CDに印刷してみよう（DVD/CDダイレクトプリント）

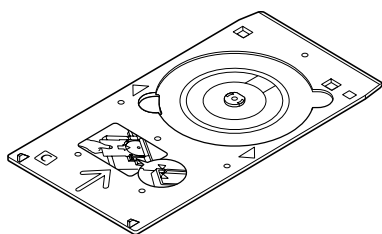
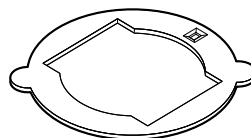
付属の CD-R トレイを使うことで、DVD/CD（プリンタブルディスク）に画像を印刷（DVD/CDダイレクトプリント）することができます。『セットアップ CD-ROM』に付属のらくちん CD ダイレクトプリント for Canon を使うと、印刷用の画像を簡単な操作で編集・加工して印刷することができます。

ここでは、DVD/CD に印刷するための準備と、CD-R トレイの使いかたについて説明します。

参考

- らくちん CD ダイレクトプリント for Canon のインストール方法については、『かんたんスタートガイド』（ソフトウェアインストール編）を参照してください。
- らくちん CD ダイレクトプリント for Canon を使った印刷方法については、らくちん CD ダイレクトプリント for Canon の取扱説明書を参照してください。
  Windows をお使いの場合は、［スタート］メニューから［すべてのプログラム］（Windows XP 以外の場合は［プログラム］）→［らくちん CD ダイレクトプリント for Canon］→［操作説明］を選ぶとご覧になれます。
  Macintosh をお使いの場合は、インストール先で［CD ダイレクトプリント］→［マニュアル］フォルダを開き、［マニュアル］をダブルクリックするとご覧になれます。
- らくちん CD ダイレクトプリント for Canon に関するご質問・ご相談は、（株）メディア・ナビゲーションにお問い合わせください。
  （株）メディア・ナビゲーション　03-5467-1781　http://www.medianavi.jp/「サポート」
- パソコンを使わず、メモリーカードに保存された写真を DVD/CD に印刷することもできます。詳しくは『ダイレクトプリントガイド』の「DVD/CD に印刷する ― DVD/CD ダイレクトプリント」（P.33）を参照してください。

用意するもの

DVD/CD に印刷するには次のものが必要です。

CD-R トレイ
＊表面に C のマークがあります

8cmCD-R アダプタ
（8cmDVD/CD に印刷するときのみ）
＊CD-R トレイに装着されています

■ DVD/CD（プリンタブルディスク）

ラベル面がインクジェット方式のプリンタに対応した 12cm/8cm サイズの DVD/CD を用意してください。

プリンタブルディスクとは、ふつうの DVD/CD と異なり、ラベル面に特殊な加工が施された印刷が可能な DVD/CD です。

推奨の DVD/CD を使うと、よりきれいな印刷結果を得ることができます。

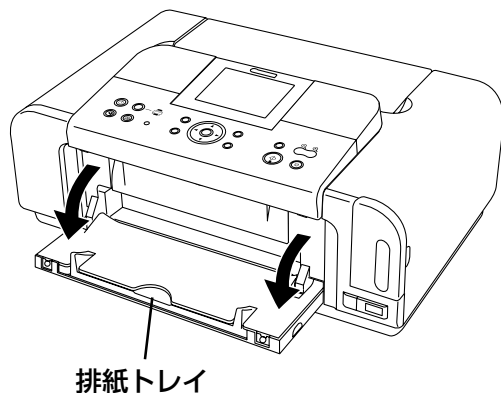
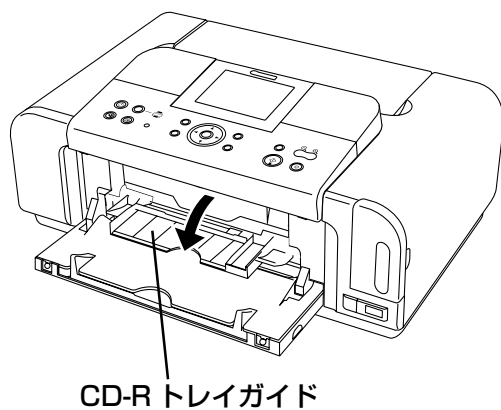
推奨する DVD/CD の情報は、不定期に更新されます。また、推奨品の仕様は予告なく変更されることがあります。
最新情報についてはキヤノンサポートホームページでご確認いただけます。canon.jp/support にアクセスしてください。

DVD/CD に印刷するときの注意について

- CD-R トレイは、本プリンタに同梱のものをお使いください（表面に C のマークがあります）。
- インクジェット方式に対応していない DVD/CD に印刷しないでください。インクが乾かず DVD/CD 自体やセットする機器に支障をきたす場合があります。
- DVD/CD の記録面には印刷しないでください。記録したデータが読めなくなることがあります。
- DVD/CD はできるだけ端を持ち、ラベル面（印刷面）、記録面に触れないでください。
- CD-R トレイにゴミなどがある場合は、DVD/CD をセットする前に取りのぞいてください。そのままセットすると、DVD/CD の記録面が傷つくことがあります。
- 印刷後はドライヤーの熱や直射日光を避け、自然乾燥させてください。また、インクが乾くまで印刷面に触れないでください。
- プリンタの動作中に CD-R トレイを取り付けないでください。
- DVD/CD の印刷中に CD-R トレイを取り外さないでください。破損の原因になります。
- CD-R トレイに付いている反射板を汚したり、傷つけたりしないでください。DVD/CD がセットされていることを認識できなかったり、印字位置がずれてしまう場合があります。
  CD-Rトレイが汚れた場合には、反射板が傷つかないように柔らかい布などでふいてください。
- らくちん CD ダイレクトプリント for Canon、Easy-PhotoPrint 以外のアプリケーションソフトを使って印刷すると、CD-R トレイが汚れることがあります。
- 8cm サイズの DVD/CD に印刷するときは、付属の 8cmCD-R アダプタをご使用ください。
- DVD/CD に印刷した後は、必ず CD-R トレイガイドを閉じてください。

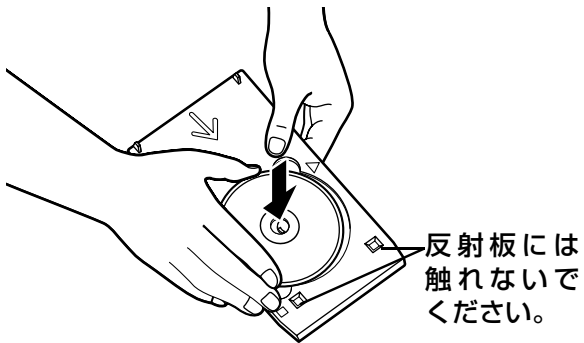
CD-R トレイの取り付け

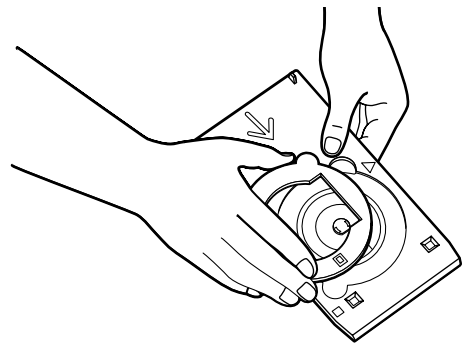
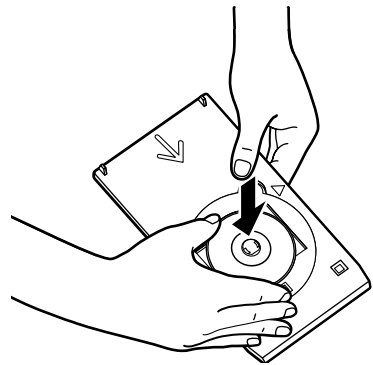
1 **排紙トレイを開く**

排紙トレイの両側面にあるくぼみに指をかけて、排紙トレイをゆっくり手前に開きます。

2 **CD-R トレイガイドを手前に倒す**

3 DVD/CD をセットする

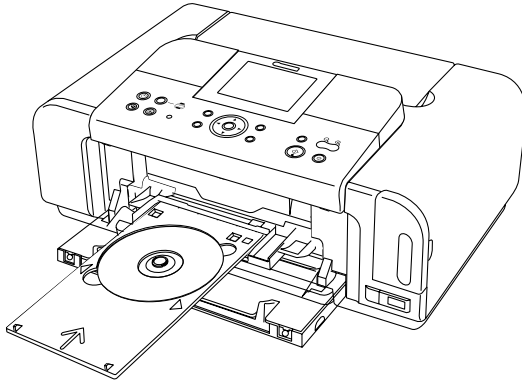
- セットするときにディスクの印刷面や反射板に触れないでください。
- 8cmDVD/CD に印刷する場合は、付属の 8cmCD-R アダプタを取り付けてください。取り付けないと印刷品位が低下したり、8cmDVD/CD が傷つくことがあります。

12cmDVD/CD の場合

1. 印刷面を上にして、ディスクを CD-R トレイにセットします。

8cmDVD/CD の場合

1. 8cmCD-R アダプタ両端の突起部分を、CD-R トレイ両端のくぼみに合わせます。

2. 印刷面を上にして、8cmDVD/CD を CD-R トレイにセットします。

4 CD-R トレイをセットする

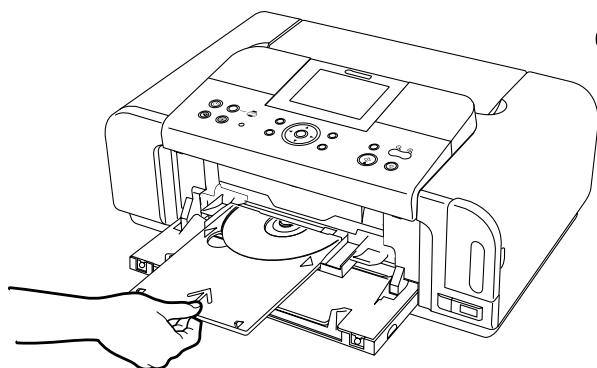
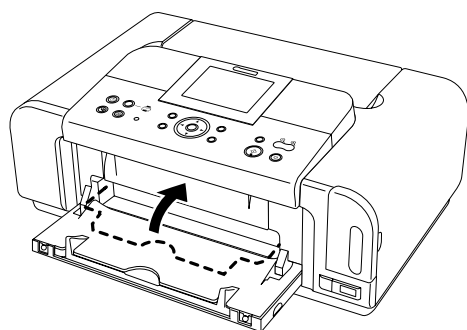
- Windows をお使いの場合、アプリケーションソフトを使って DVD/CD に印刷するときには、「CD-R トレイをセットしてください」という内容の画面が表示されるまで CD-R トレイはセットしないでください。
- 準備動作中などに CD-R トレイをセットした場合は、CD-R トレイが排出されることがあります。その場合は、画面の指示にしたがって、再度 CD-R トレイをセットし直してください。
- メモリーカードに保存した写真を DVD/CD に直接印刷することもできます。メモリーカードから直接印刷する方法については、『ダイレクトプリントガイド』の「DVD/CD に印刷するー DVD/CD ダイレクトプリント」（P.33）を参照してください。

❶ CD-Rトレイを CD-Rトレイガイドにセットします。

CD-R トレイは水平にまっすぐ挿入してください。

❷ CD-R トレイの矢印（▽）と、CD-R トレイガイドの矢印（▽）がほぼ合うところまで挿入します。

CD-R トレイの矢印（▽）と、CD-R トレイガイドの矢印（▽）の位置を確認してください。

CD-R トレイガイドの矢印（▽）の位置より奥に CD-R トレイを押し込まないでください。

CD-R トレイの取り外し

1 CD-R トレイを取り出す

2 CD-R トレイガイドを閉じる

CD-R トレイガイドを開いた状態では、用紙が正しく送られないため、通常の用紙を使った印刷はできません。必ず CD-R トレイガイドを閉じてください。

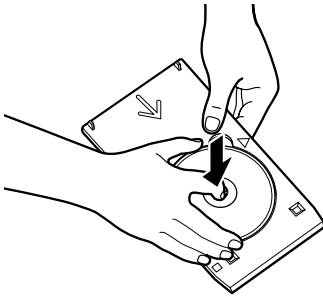
3 DVD/CD を取り外す

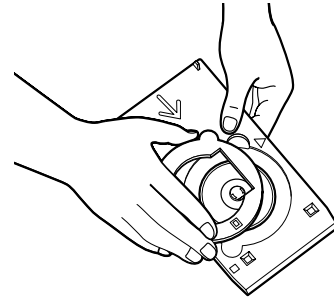
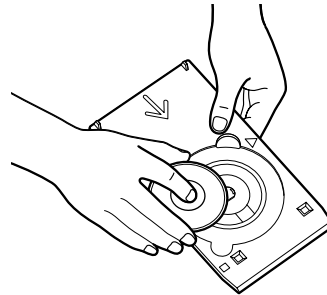
取り出す際に印刷面に触れないでください。

参考

印刷面が十分に乾いてから、取り外してください。CD-R トレイ上に印刷された場合や、DVD/CD の外側および内側の透明部分に印刷された場合は、印刷面が乾いてからふきとってください。

12cmDVD/CD の場合

1. CD-R トレイからディスクを取り外します。

8cmDVD/CD の場合

1. 8cmCD-R アダプタを取り外します。

2. CD-R トレイから 8cmDVD/CD を取り外します。

CD-R トレイを使用しないときは、反ったりしないよう平らなところに保管してください。反ってしまうと使用できなくなることがあります。

インクタンクを交換する

インクがなくなったときは、インクタンクを交換してください。インクタンクの型番や取り付け位置を間違えると印刷できません。本プリンタでは、以下のインクタンクを使用しています。

● ブラック：　BCI-7eBk

● フォトマゼンタ：BCI-7ePM

● シアン：　BCI-7eC

● マゼンタ：　BCI-7eM

● フォトシアン：　BCI-7ePC

● イエロー：　BCI-7eY

参考

- インクを取り付ける際は、インクの並び順を間違えないよう、インクラベルをよくご確認ください。インクの並びは、左からブラック 7e BK、シアン 7e C、フォトシアン 7e PC、フォトマゼンタ 7e PM、マゼンタ 7e M、イエロー 7e Y です。
- インクが残っているのに印刷がかすれたり、白すじが入る場合は、「印刷にかすれやむらがあるときは」（P.49）を参照してください。

インクタンクの交換の操作については、『ダイレクトプリントガイド』の「インクタンクを交換する」（P.53）を参照してください。

重要

インクの取り扱いについて

- 最適な印刷品質を保つため、キヤノン製の指定インクタンクのご使用をお勧めします。
  また、インクのみの詰め替えはお勧めできません。
- インクタンクの交換はすみやかに行い、インクタンクを取り外した状態で放置しないでください。
- 交換用インクタンクは新品のものを装着してください。インクを消耗しているものを装着すると、ノズルがつまる原因になります。また、インク交換時期を正しくお知らせできません。
- 最適な印刷品質を保つため、インクタンクは梱包箱に記載されている「推奨取付期限」までにプリンタに取り付けてください。また、開封後 6ヶ月以内に使い切るようにしてください（プリンタに取り付けた年月日を、控えておくことをお勧めします）。
- 黒のみの文書やモノクロ印刷を指定した場合でも、各色のインクが使われる可能性があります。
  また、プリンタの性能を維持するために行うクリーニングや強力クリーニングでも、各色のインクが使われます。
  インクがなくなった場合は、すみやかに新しいインクタンクに交換してください。

印刷にかすれやむらがあるときは

インクがまだ十分にあるのに印刷がかすれたり特定の色が出なくなったときには、プリントヘッドのノズルが目づまりしている可能性があります。ノズルチェックパターンを印刷してノズルの状態を確認したあとに、プリントヘッドのクリーニングを行ってください。
また、印刷の結果が思わしくないときは、プリントヘッドの位置調整を行うと状態が改善することがあります。お手入れはプリンタドライバから行うことができます。詳しくは『印刷設定ガイド』を参照してください。

お手入れを行う前に

- 『ダイレクトプリントガイド』の「インクタンクを交換する」(P.53)を参照して、以下のことを行ってください。
  ・カバーを開け、インクランプが赤く点灯していることを確認してください。
  ランプがゆっくり点滅している場合…インクが少なくなっています。印刷を続行することはできますが、交換用インクタンクのご用意をお勧めします。
  ランプが早く点滅している場合…………インクがなくなりました。インクタンクを交換してください。
  インクがまだ十分にあるのにインクランプが点滅している場合は、正しい位置にセットされていないインクタンクがあります。各色のインクタンクがラベルの通りに正しい位置にセットされているか確認してください。
  ランプが消えている場合……………………インクタンクのPUSHの部分を「カチッ」という音がするまでしっかり押して、インクタンクをセットしてください。また、インクタンクの包装フィルムが完全にはがされているか確認してください。
- プリンタドライバの印刷品質を上げることで、きれいに印刷される場合があります。➔ P.54
- お手入れはプリンタドライバから行うことができます。詳しくは『印刷設定ガイド』を参照してください。

Step 1
ノズルチェックパターンの印刷
➔ 『ダイレクトプリントガイド 』「ノズルチェックパターンを印刷する」(P.59)

パターンが欠けている場合

クリーニング後ノズルチェックパターンを印刷して確認

Step 2
プリントヘッドのクリーニング
➔ 『ダイレクトプリントガイド』「プリントヘッドをクリーニングする」(P.61)

2 回繰り返しても改善されない場合

Step 3
プリントヘッドの強力クリーニング
➔ 『ダイレクトプリントガイド 』「プリントヘッドを強力クリーニングする」(P.62)

Step3 までの操作を行っても症状が改善されない場合は、プリントヘッドが故障している可能性があります。修理受付窓口にお問い合わせください。➔ P.67

罫線がずれている

Step 1
プリントヘッド位置の調整
➔ 『ダイレクトプリントガイド 』「プリントヘッド位置を調整する ー 自動調整」(P.63)

困ったときには

プリンタを使用中にトラブルが発生したときの対処方法について説明します。

ここでは、発生しやすいトラブルを中心に説明します。該当するトラブルが見つからないときには『プリンタガイド』の「困ったときには」を参照してください。『プリンタガイド』の見かたについては、62 ページ を参照してください。
液晶モニターにエラーメッセージが表示されたり、デジタルカメラからうまく印刷できないときには、付属の『ダイレクトプリントガイド』の「困ったときには」の「液晶モニターにエラーメッセージが表示されている」（P.64）、「デジタルカメラからうまく印刷できない」（P.77）を参照してください。

◆ **プリンタドライバがインストールできない ➔ P.51**

◆ **パソコンとの接続がうまくいかない**

印刷速度が遅い／ USB 2.0 Hi-speed として動作しない ➔ P.52

Windows　Windows XP のパソコンに接続すると、画面に「高速ではない USB ハブに接続している高速 USB デバイス」または「さらに高速で実行できるデバイス」と警告文が表示される ➔ P.52

◆ **印刷結果に満足できない**

最後まで印刷できない ➔ P.53

インクが出ない／印刷されない／印刷がかすれる／違う色になる／白いすじが入る／罫線がずれて印刷される ➔ P.53

用紙が反る／インクがにじむ ➔ P.54

印刷面がこすれる／用紙・はがきが汚れる ➔ P.54

◆ **印刷が始まらない／途中で止まる ➔ P.56**

◆ **用紙がうまく送られない ➔ P.57**

◆ **用紙がつまった ➔ P.57**

◆ **画面にメッセージが表示されている**

Windows　「書き込みエラー／出力エラー」または「通信エラー」➔ P.58

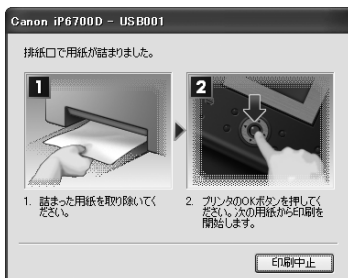
DVD/CD ダイレクトプリントに関するエラーが表示されている ➔ P.59

自動両面印刷に関するエラーが表示されている ➔ P.59

Macintosh　「エラー番号：XX」（X は数字）が表示されている ➔ P.59

◆ **電源ランプとエラーランプが交互に点滅している ➔ P.61**

Windows

エラーが発生したときは

印刷中に用紙がなくなったり、紙づまりなどのトラブルが発生すると、自動的にトラブルの対処方法を示すメッセージダイアログが表示されます。この場合は、表示された対処方法にしたがって操作してください。

◆プリンタドライバがインストールできない

原因	対処方法
Windows インストールの途中で先の画面に進めなくなった	［プリンタの接続］画面から先に進めなくなった場合は、次の操作にしたがってインストールをやり直してください。 ① ［キャンセル］ボタンをクリックする ② ［インストール失敗］画面で［もう一度］ボタンをクリックする ③ 表示された画面で［戻る］ボタンをクリックする ④ ［PIXUS iP6700D］画面で［終了］ボタンをクリックし、CD-ROM を取り出す ⑤ プリンタの電源を切る ⑥ パソコンを再起動する ⑦ ほかに起動しているアプリケーションソフト（ウイルス対策ソフトも含む）がないか確認する ⑧ 『かんたんスタートガイド』（ソフトウェアインストール編）の手順にしたがって、プリンタドライバをインストールする
『セットアップ CD-ROM』が自動的に起動しない	Windows ［スタート］メニューから［マイコンピュータ］を選び、開いたウィンドウにある CD-ROM のアイコンをダブルクリックします。 Windows XP 以外をご使用の場合は、［マイコンピュータ］アイコンをダブルクリックし、開いたウィンドウにある CD-ROM のアイコンをダブルクリックします。 Macintosh 画面上に表示された CD-ROM のアイコンをダブルクリックします。 CD-ROM のアイコンが表示されない場合は、CD-ROM に異常がある可能性があります。キャノンお客様相談センターにお問い合わせください。 ➔ P.67
手順通りにインストールしていない	『かんたんスタートガイド』（ソフトウェアインストール編）の手順にしたがって、プリンタドライバをインストールしてください。 プリンタドライバが正しくインストールされなかった場合は、プリンタドライバを削除し、パソコンを再起動します。そのあとに、プリンタドライバを再インストールしてください。 Windows エラーが発生してインストーラが強制終了した場合は、パソコンを再起動して再インストールしてください。

◆パソコンとの接続がうまくいかない

印刷速度が遅い／ USB 2.0 Hi-speed として動作しない

原因	対処方法
USB 2.0 Hi-Speedに対応していない環境で使用している	USB 2.0 Hi-Speed に対応していない環境では、USB1.1 での接続となります。この場合、プリンタは正常に動作しますが、通信速度の違いから印刷速度が遅くなることがあります。 ご使用の環境が USB 2.0 Hi-Speed に対応しているか、次の点を確認してください。 ● パソコンの USB ポートが、USB 2.0 に対応しているか確認してください。 ● USB ケーブルと USB ハブが、USB 2.0 に対応しているか確認してください。 USB ケーブルは、必ず USB 2.0 認証ケーブルをご使用ください。また、長さは 3 m 以内のものをお勧めします。 ● ご使用のパソコンが、USB 2.0 に対応した状態になっているか確認してください。 最新のアップデートを入手して、インストールしてください。 ● USB 2.0 対応の USB ドライバが正しく動作しているか確認してください。 USB 2.0 に対応した最新の USB 2.0 ドライバを入手して、インストールし直してください。 重要 上記の確認事項の操作方法につきましては、お使いのパソコンメーカーまたは USB ケーブルメーカー、USB ハブメーカーにご確認ください。

Windows Windows XP のパソコンに接続すると、画面に「高速ではない USB ハブに接続している高速 USB デバイス」または「さらに高速で実行できるデバイス」と警告文が表示される

原因	対処方法
USB 2.0 Hi-Speedに対応していないパソコンに接続している	ご使用の環境が USB 2.0 Hi-Speed に対応していないことを示しています。「印刷速度が遅い／ USB 2.0 Hi-Speed として動作しない」を参照してください。

◆印刷結果に満足できない

最後まで印刷できない

原因	対処方法
用紙サイズの設定が印刷する用紙に合っていない	アプリケーションソフトの用紙サイズを確認してください。 次に、プリンタドライバの［ページ設定］シート（Windows）、または［ページ設定］ダイアログ（Macintosh）で［用紙サイズ］の設定を確認し、印刷する用紙と同じサイズに設定してください。
印刷のデータ容量が大きい	Windows Windows XP/Windows 2000 をお使いの場合、年賀状作成ソフトなどのアプリケーションソフトを使用して、容量の大きな画像を処理すると、画像の一部が印刷されないことがあります。 このような場合は［ページ設定］シートの［印刷オプション］ボタンをクリックします。表示されるダイアログで［印刷データのサイズを小さくする］をオンにしてみてください。また、この機能を使用すると、印刷の品位が下がることがあります。
自動両面印刷をしている	自動両面印刷をしているときは、プリンタドライバで縮小して印刷をする設定にすると、解決する場合があります。 重要　縮小印刷を行うと、レイアウトがくずれることがあります。 Windows ［ページ設定］シートの［印刷領域設定］をクリックし、［縮小して印刷する］を選びます。 Macintosh ① プリントダイアログのポップアップメニューから［両面印刷ととじしろ］を選ぶ ② ［自動両面印刷］にチェックマークを付け、［印刷領域］の［縮小して印刷する］をクリックする

インクが出ない／印刷されない／印刷がかすれる／違う色になる／白いすじが入る／罫線がずれて印刷される

原因	対処方法
プリンタドライバで正しい用紙が選ばれていない	プリンタドライバの［基本設定］シート（Windows）、またはプリントダイアログ（Macintosh）の［用紙の種類］で、セットする用紙の種類と合っているか確認してください。
プリントヘッドが目づまりしている	カバーを開け、インクランプが赤く点灯していることを確認してください。 ノズルチェックパターンを印刷してインクが正常に出ていることを確認してください。 ➔『ダイレクトプリントガイド』の「ノズルチェックパターンを印刷する」（P.59） ● インクが正常に出ていない場合 ➔『ダイレクトプリントガイド』の「プリントヘッドをクリーニングする」（P.61） ➔『ダイレクトプリントガイド』の「プリントヘッドを強力クリーニングする」（P.62）

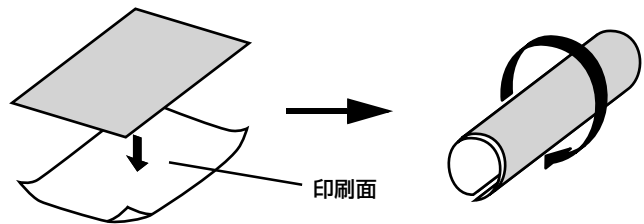
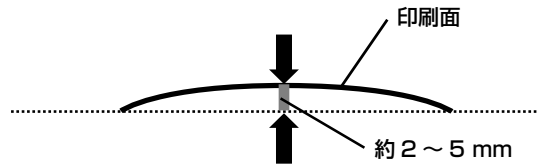
プリントヘッド位置がずれている	『ダイレクトプリントガイド』の「プリントヘッド位置を調整する ー 自動調整」(P.63)を参照して、自動ヘッド位置調整を行ってください。それでも印刷結果が思わしくない場合は、『プリンタガイド』の「手動でプリントヘッド位置を調整する」を参照して、手動ヘッド位置調整を行ってください。
適切な印刷品位が選ばれていない	[印刷品質]([印刷品位])を[きれい]([高品位])に設定してください。 Windows ① プリンタドライバの設定画面を開く ➔P.40 ② [基本設定]シートで、[印刷品質]を[きれい]に設定する [きれい]に設定できないときや、印刷が改善されないときは、[ユーザー設定]を選び、[設定]ボタンをクリックして、より高品位に設定してみてください。 Macintosh ① プリントダイアログを開く アプリケーションソフトの[ファイル]メニューから[プリント]を選ぶのが一般的です。 ② ポップアップメニューから[品位と用紙の種類]を選び、[詳細設定]をクリックする ③ スライドバーを使って、[印刷品位]を[高品位]に設定する
用紙の裏表を間違えている	用紙の裏表を正しくセットしてください。用紙の印刷面については、『プリンタガイド』の「いろいろな用紙に印刷してみよう」を参照してください。

用紙が反る/インクがにじむ

薄い用紙を使用している	写真や色の濃い絵など、インクを大量に使用する印刷をするときは、プロフェッショナルフォトペーパーなどの写真専用用紙に印刷することをお勧めします。➔ P.36
プリンタドライバで正しい用紙が選ばれていない	プリンタドライバの[基本設定]シート(Windows)、またはプリントダイアログ(Macintosh)の[用紙の種類]で、セットする用紙の種類と合っているか確認してください。

印刷面がこすれる/用紙・はがきが汚れる

適切な用紙を使用していない	● 厚い用紙や反りのある用紙を使用していないか確認してください。 ➔「使用できない用紙について」(P.14) ● フチなし全面印刷を行っている場合は、用紙の上端および下端の印刷品位が低下する場合があります。お使いの用紙がフチなし全面印刷のできる用紙か確認してください。 ➔『印刷設定ガイド』
給紙ローラが汚れている	『ダイレクトプリントガイド』の「用紙が汚れる/印刷面がこすれる/用紙がうまく送られない」の「給紙ローラが汚れている」(P.68)を参照して給紙ローラをクリーニングしてください。
プリンタの内部が汚れている	プリンタの内部に残ったインクがついて、用紙が汚れる場合があります。プリンタの内部をお手入れしてください。 ➔『プリンタガイド』の「プリンタの内部をお手入れする」

厚めの用紙を使用している	用紙のこすれを防止する設定にすると、プリントヘッドと紙の間隔が広くなります。［用紙の種類］でお使いの用紙の種類を正しく選んでいても印刷面がこすれる場合は、プリンタドライバで［用紙のこすれを防止する］にチェックマークを付け、［送信］ボタンをクリックしてから、再度印刷をしてみてください。 Windows ［ユーティリティ］シートの［特殊設定］で［用紙のこすれを防止する］にチェックマークを付け、［送信］ボタンをクリックしてください。 Macintosh Canon IJ Printer Utility の［特殊設定］で［用紙のこすれを防止する］にチェックマークを付け、［送信］ボタンをクリックしてください。 ＊印刷後は［用紙のこすれを防止する］のチェックマークを外し、［送信］ボタンをクリックしてください。 なお、［用紙のこすれを防止する］の設定は、プリンタドライバ側で一度チェックを入れるとデジタルカメラから直接印刷したときにも有効になります。 パソコンを使わずにデジタルカメラから直接印刷している場合は、操作パネル上で［印刷設定］を選び、［印刷面こすれ改善］を［する］に設定してください。詳しくは『ダイレクトプリントガイド』の「困ったときには」の「それでも印刷面がこすれるときには」（P.73）を参照してください。 ※ 印刷後は［印刷面こすれ改善］を［しない］に戻してください。
反りのある用紙を使用している	四隅や印刷面全体に反りのある用紙を使用した場合、用紙が汚れたり、うまく送れなかったりする恐れがあります。以下の手順で反りを修正してから使用してください。 ① 印刷面を上にし、表面が汚れたり傷つくことを防ぐために、印刷しない普通紙などを 1 枚重ねます。 ② 下の図のように反りと逆方向に丸めます。 ③ 印刷する用紙が、約 2 ～ 5 mm 以内で反りが直っていることを確認します。 反りを修正した用紙は、1 枚ずつセットして印刷することをお勧めします。

困ったときには

◆印刷が始まらない／途中で止まる

原因	対処方法
インクがない	インクランプ（赤色）がはやく点滅（約 1 秒間隔）している場合は、インクがなくなっています。 インクタンクを交換して、カバーを閉じてください。 印刷が完了していない場合は、インクタンクを取り付けたままプリンタの OK ボタンを押すと、インク切れの状態で印刷を続行することができます。印刷が終了したらすぐに新しいインクタンクに交換してください。 インク切れの状態で印刷を続けると、故障の原因となるおそれがあります。 参考　複数のインクランプが点滅している場合は、点滅の速度を確認してください。 はやく点滅（約 1 秒間隔）している場合はインクがなくなっています。ゆっくり点滅（約 3 秒間隔）している場合はインクが少なくなっています。 点滅速度の違いについては、『ダイレクトプリントガイド』の「インクタンクを交換する」の「インク残量を確認する」（P.53）を参照してください。
インクタンクが正しい位置にセットされていない	インクがまだ十分にあるのにインクランプが赤く点滅している場合は、正しい位置にセットされていないインクタンクがあります。 各色のインクタンクの取付け位置に、正しいインクタンクがセットされていることを確認してください。
インクタンクがしっかりセットされていない	インクランプが消えている場合は、インクタンクのラベル上の PUSH 部分を「カチッ」という音がするまでしっかり押して、インクタンクをセットしてください。しっかりセットされると、インクランプが赤く点灯します。 また、オレンジ色のテープが下の図 1 のようにすべてはがされていることを確認してください。図2 のようにオレンジ色の部分が残っている場合は、オレンジ色の部分をすべて取り除いてください。

不要な印刷ジョブがたまっている／パソコン側のトラブル	パソコンを再起動すると、トラブルが解消されることがあります。 また、印刷ジョブが残っている場合は、削除してください。 **Windows** ① プリンタドライバの設定画面を［スタート］メニューから開く ➔ P.40 ② ［ユーティリティ］シートの［プリンタ状態の確認］ボタンをクリックする ③ ［印刷待ち一覧を表示］ボタンをクリックする ④ ［プリンタ］メニューから［すべてのドキュメントの取り消し］を選ぶ Windows Me/Windows 98 をお使いの場合は、削除する文書をクリックし、［プリンタ］メニューから［印刷ドキュメントの削除］を選びます。 Windows XP/Windows 2000 では選べないことがあります。 ⑤ 確認メッセージが表示されたら、［はい］ボタンをクリックする **Macintosh** ① Dock 内にあるプリンタのアイコンをクリックし、印刷中のジョブの一覧を表示する Mac OS X v.10.2.8 をお使いの場合は、Dock 内にあるプリンタのアイコンをクリックしてプリントセンターを起動し、プリンタリストの機種名をダブルクリックしてください。 ② 削除する文書をクリックし、をクリックする

◆用紙がうまく送られない

原因	対処方法
適切な用紙を使用していない	厚い用紙や反りのある用紙などを使用していないか確認してください。 ➔「使用できない用紙について」（P.14）
給紙ローラが汚れている	『ダイレクトプリントガイド』の「用紙が汚れる／印刷面がこすれる／用紙がうまく送られない」の「給紙ローラが汚れている」（P.71）を参照して給紙ローラをクリーニングしてください。
用紙のセット方法が正しくない	オートシートフィーダ、カセットともに印刷の向きに関わらず縦向きにセットしてください。用紙のセット方法を確認し、セットした用紙に用紙ガイドを正しく合せてください。➔ P.16
オートシートフィーダに普通紙を多量にセットしている	普通紙の種類やお使いの環境（高温・多湿や低温・低湿の場合）によっては、正常に紙送りできない場合があります。 この場合は、セットする枚数を最大積載可能枚数の約半分（高さ 5 mm 程度）に減らしてください。➔ P.17

◆用紙がつまった

原因	対処方法
排紙口／オートシートフィーダで用紙がつまった	『ダイレクトプリントガイド』の「困ったときには」の「用紙がつまった」（P.74）を参照して、排紙口につまった用紙を取り除いてください。
横向きにセットした名刺サイズ用紙、カードサイズ用紙が、プリンタ内部でつまった	『ダイレクトプリントガイド』の「困ったときには」の「用紙がつまった」（P.74）を参照して、つまった用紙を取り除いてください。
カセットに横向きにセットしたL判、はがきがプリンタ内部でつまった	『ダイレクトプリントガイド』の「困ったときは」の「用紙がつまった」（P.74）を参照して、つまった用紙を取り除いてください。

プリンタの内部で用紙がつまった（搬送ユニット）	『ダイレクトプリントガイド』の「困ったときには」の「用紙がつまった」（P.75）を参照して、搬送ユニットにつまった用紙を取り除いてください。

プリンタの内部で用紙がつまった（両面搬送部）	『ダイレクトプリントガイド』の「困ったときには」の「用紙がつまった」（P.76）を参照して、両面搬送部につまった用紙を取り除いてください。

◆画面にメッセージが表示されている

Windows 「書き込みエラー／出力エラー」または「通信エラー」

原因	対処方法
プリンタの準備ができていない	電源ランプが点灯していることを確認してください。 電源ランプが消灯しているときは、プリンタの電源ボタンを押して電源を入れてください。電源ランプが点滅しているあいだは、プリンタが初期動作をしています。点灯に変わるまでお待ちください。 エラーランプが点灯しているときは、プリンタにエラーが起きている可能性があります。対処方法については『ダイレクトプリントガイド』の「液晶モニターにエラーメッセージが表示されている」（P.64）を参照してください。
用紙がセットされていない	用紙をセットして、プリンタの OK ボタンを押してください。 用紙がセットされている場合は、給紙箇所（オートシートフィーダまたはカセット）が正しく設定されているか確認してください。間違っていた場合は、給紙切替ボタンまたはプリンタドライバで給紙箇所を切り替えてください。 用紙なしエラーが一定時間以上放置されるとメッセージが表示されることがあります。
プリンタポートの設定と接続されているインタフェースが異なっている	プリンタポートの設定を確認してください。 ① ［スタート］メニューから［コントロール パネル］→［プリンタとその他のハードウェア］→［プリンタと FAX］を選ぶ Windows XP 以外をお使いの場合は、［スタート］メニューから［設定］→［プリンタ］の順に選びます。 ② ［Canon iP6700D］アイコンを選ぶ ③ ［ファイル］メニューから［プロパティ］を選ぶ ④ ［ポート］タブ（または［詳細］タブ）をクリックして設定を確認する 印刷先のポートが［USBnnn （Canon iP6700D)］または［MPUSBPRNnn （Canon iP6700D)］（n は数字）に設定されていることを確認してください。 設定が誤っている場合は、印刷先のポートを正しいものに変更するか、プリンタドライバを再インストールしてください。
プリンタとパソコンが正しく接続されていない	プリンタとパソコンがケーブルでしっかり接続されていることを確認してください。 ● USB ハブなどの中継機を使用している場合は、それらを外してプリンタとパソコンを直接接続してから印刷してみてください。正常に印刷される場合は、取り外した機器の販売元にお問い合わせください。 ● ケーブルに不具合があることも考えられます。別のケーブルに交換し、再度印刷してみてください。
プリンタドライバが正しくインストールされていない	プリンタドライバを削除し、再度インストールし直してください。 ① ［スタート］メニューから［すべてのプログラム］（または［プログラム］）、［Canon iP6700D］の順にクリックし、［アンインストーラ］を選ぶ ② 画面の指示にしたがって操作する ③『かんたんスタートガイド』（ソフトウェアインストール編）の操作にしたがって、プリンタドライバをインストールする

DVD/CD ダイレクトプリントに関するエラーが表示されている

CD-R トレイまたは DVD/CD がセットされていない	まず、本プリンタに同梱の CD-R トレイ（C のマークがあるもの）を使用しているか確認してください。 DVD/CD を正しく取り付けてから、CD-R トレイをセットし直し、プリンタの OK ボタンを押してください。印刷を再開します。➔ P.43

DVD/CD が正しく認識されない	DVD/CD によっては正しく認識されないものがあります。この場合は、［ユーティリティ］シート（Windows）、または Canon IJ Printer Utility（Macintosh）の［特殊設定］で［CD-R 印刷時にプリンタブルディスクの有無を判別する］のチェックマークを外し、［送信］ボタンをクリックしてから、再度印刷を行ってください。 印刷が終わったら、［CD-R 印刷時にプリンタブルディスクの有無を判別する］をクリックし、チェックマークを付け、［送信］ボタンをクリックしてください。 チェックマークが外れていると、DVD/CD がセットされていなくても印刷が始まることがあります。チェックマークを付けることで、CD-R トレイが汚れるのを防ぐことができます。

通常の印刷（DVD/CD ダイレクトプリント以外の印刷）を開始するとき、または印刷中に CD-R トレイガイドが開いている	CD-R トレイガイドを閉じてからプリンタの OK ボタンを押してください。 印刷中に CD-R トレイガイドを開閉しないでください。破損の原因になります。

自動両面印刷に関するエラーが表示されている

プリンタドライバで正しい用紙サイズが選ばれていない	アプリケーションソフトの用紙サイズを確認してください。 次に、プリンタドライバの［ページ設定］シート（Windows）、または［ページ設定］ダイアログ（Macintosh）で［用紙サイズ］の設定を確認し、印刷する用紙と同じサイズに設定してください。 自動両面印刷に対応する用紙サイズは、A5 ／ A4 ／ B5 ／ 2L 判／はがき／往復はがきです。プリンタにセットした用紙サイズが正しいか確認してください。 参考　手動両面印刷に変更する場合は、次の手順にしたがってください。 Windows プリンタドライバの設定画面を開き、［ページ設定］シートで［自動］をクリックし、チェックマークを外してから、印刷をやり直します。 Macintosh 手動両面印刷機能は使用できません。

Macintosh 「エラー番号 : 300 」が表示されている

プリンタの準備ができていない	電源ランプが点灯していることを確認してください。 電源ランプが消灯しているときは、電源ボタンを押して電源を入れてください。電源ランプが点滅しているあいだは、プリンタが初期動作をしています。点灯に変わるまでお待ちください。 エラーランプが点灯しているときは、プリンタにエラーが起きている可能性があります。対処法法については『ダイレクトプリントガイド』の「液晶モニターにエラーメッセージが表示されている」（P.64）を参照してください。

プリンタとパソコンが正しく接続されていない	プリンタとパソコンがケーブルでしっかり接続されていることを確認してください。 ● USB ハブなどの中継機を使用している場合は、それらを外してプリンタとパソコンを直接接続してから印刷してみてください。正常に印刷される場合は、取り外した機器の販売元にお問い合わせください。 ● ケーブルに不具合があることも考えられます。別のケーブルに交換し、再度印刷してみてください。

プリントダイアログの［プリンタ］プルダウンメニューで、お使いのプリンタ名が選ばれていない	プリントダイアログの［プリンタ］プルダウンメニューで、［iP6700D］を選んでください。 ［プリンタ］プルダウンメニューに［iP6700D］が表示されていない場合は、以下の手順で設定を確認してください。 ① ［プリンタ］プルダウンメニューから［“プリントとファックス”環境設定］を選ぶ Mac OS X v.10.3.x または Mac OS X v.10.2.8 をお使いの場合は、［プリンタ］プルダウンメニューから［プリンタリストを編集］を選びます。 ② 表示される画面で［iP6700D］が表示され、チェックマークが付いていることを確認する Mac OS X v.10.2.8 をお使いの場合は、［iP6700D］が表示されていることを確認します。 ③ ［iP6700D］が表示されていない場合は、［追加］（＋）ボタンをクリックして、プリンタを追加する プリンタが追加できない場合は『かんたんスタートガイド』の操作にしたがって、プリンタドライバをインストールし直してください。

Macintosh 「エラー番号：1001」が表示されている

CD-R トレイがセットされていない	まず、本プリンタに同梱の CD-R トレイ（C のマークがあるもの）を使用しているか確認してください。 CD-R トレイを正しく取り付け、プリンタの OK ボタンを押してください。 ➔ P.43

Macintosh 「エラー番号：1002」が表示されている

DVD/CD が CD-R トレイにセットされていない	まず、本プリンタに同梱の CD-R トレイ（C と書かれているもの）を使用しているか確認してください。 DVD/CD を正しく取り付けてから、CD-R トレイをセットし直し、プリンタの OK ボタンを押してください。印刷を再開します。➔ P.43

DVD/CD が正しく認識されない	DVD/CD によっては正しく認識されないものがあります。この場合は、Canon IJ Printer Utility の［特殊設定］で［CD-R 印刷時にプリンタブルディスクの有無を判別する］をクリックし、チェックマークを外し、［送信］ボタンをクリックしてから、印刷してください。 印刷が終わったら、［CD-R 印刷時にプリンタブルディスクの有無を判別する］をクリックし、チェックマークを付け、［送信］ボタンをクリックしてください。 チェックマークが外れていると、DVD/CD がセットされていなくても印刷が始まることがあります。チェックマークを付けることで、CD-R トレイが汚れるのを防ぐことができます。

Macintosh「エラー番号：1701」が表示されている

インク吸収体が満杯になりそう	インク吸収体が満杯に近づいています。 本プリンタは、クリーニングなどで使用したインクが、インク吸収体に吸収されます。 この状態になった場合、プリンタの OK ボタンを押すと、エラーを解除して印刷が再開できます。満杯になると、印刷できなくなり、インク吸収体の交換が必要になります。お早めにお客様相談センターまたは修理受付窓口にお問い合わせください。お客様ご自身によるインク吸収体の交換はできません。➔ P.67

Macintosh「エラー番号：1851」が表示されている

通常の印刷（DVD/CD ダイレクトプリント以外の印刷）を開始するときに CD-R トレイガイドが開いている	CD-R トレイガイドを閉じてから、プリンタの OK ボタンを押してください。➔ P.46

Macintosh「エラー番号：1856」が表示されている

通常の印刷（DVD/CD ダイレクトプリント以外の印刷）中に CD-R トレイガイドが開かれた	CD-R トレイガイドを閉じ、プリンタの OK ボタンを押してください。 エラーが発生したときにプリンタに送信されていた一枚分の印刷データが消去されますので、もう一度印刷の指示をしてください。➔ P.46

Macintosh「エラー番号：2001」が表示されている

デジタルカメラとの通信が応答のないまま一定時間経過／本プリンタに対応していないデジタルカメラ、デジタルビデオカメラが接続されている	接続されているケーブルを抜き、再度ケーブルを接続してください。 ご使用の PictBridge 対応機器の種類により、接続する前に PictBridge 対応機器で印刷するモードに切り替える必要があります。また接続後、手動で電源を入れたり、再生モードにする必要があります。ご使用の機器に付属の取扱説明書を参照のうえ、接続前に必要な操作を行ってください。 それでもエラーが解決されないときは、本プリンタに対応していないデジタルカメラ、デジタルビデオカメラが接続されている可能性があります。本プリンタと接続して直接印刷できるのは、PictBridge 対応のデジタルカメラ、デジタルビデオカメラです。

Macintosh「エラー番号：2500」が表示されている

自動ヘッド位置調整に失敗した	『ダイレクトプリントガイド』の「液晶モニターにエラーメッセージが表示されている」、「自動ヘッド位置調整に失敗しました ［OK］を押して操作をやり直してください《使用説明書を参照》」（P.66）にしたがって対処してください。

◆電源ランプとエラーランプが交互に点滅している

原因	対処方法
サービスが必要なエラーが起こっている可能性があります	パソコンと接続している場合、接続しているケーブルを外し、プリンタの電源を切ってから、電源プラグをコンセントから抜いてください。しばらくしてから、再度プリンタの電源を入れ直してみてください。それでも回復しない場合は、お客様相談センターまたは修理受付窓口にお問い合わせください。

電子マニュアルを読もう

電子マニュアルは、パソコンの画面で見る取扱説明書です。
本書には記載されていない使いかたやトラブルへの対処方法、『セットアップ CD-ROM』に付属しているアプリケーションソフトの使いかたなどについて詳しく知りたいときにお読みください。

電子マニュアルをインストールしていなかったり、削除した場合は、『セットアップ CD-ROM』を使って、以下のようにインストールします。

- [おまかせインストール] を選んで、プリンタドライバ、アプリケーションとともにインストール
- [選んでインストール] から [電子マニュアル（取扱説明書）] を選んでインストール

電子マニュアルを表示する

電子マニュアルをパソコンの画面に表示する方法について説明します。

1 デスクトップ上のアイコン（ iP6700D 電子マニュアル(取... ）をダブルクリックする

電子マニュアルの一覧が表示されます。

Windows

- 『印刷設定ガイド』は、プリンタドライバの［操作説明］ボタンをクリックして、表示することもできます。［操作説明］ボタンは、プリンタドライバの [基本設定] シートおよび [ユーティリティ] シートに表示されます。ただし電子マニュアル（取扱説明書）がパソコンにインストールされている必要があります。
- ［スタート］メニューから表示するときは、Windows の［スタート］メニューから［すべてのプログラム］（または［プログラム］）、[Canon iP6700D マニュアル] - [iP6700D 電子マニュアル（取扱説明書）］の順に選びます。
- インストールした電子マニュアルを削除するときは、Windows の［スタート］メニューから［すべてのプログラム］（または［プログラム］）、[Canon iP6700D マニュアル] - ［アンインストーラ］の順に選びます。すべての電子マニュアルがまとめて削除されます。

Macintosh

- 『印刷設定ガイド』は、プリントダイアログの [品位と用紙の種類]、[カラーオプション]、[特殊効果]、[フチなし全面印刷] または [両面印刷ととじしろ] の ? ボタンをクリックして、表示することもできます。電子マニュアル（取扱説明書）がインストールされていないと、? ボタンをクリックしても表示されません。
- 『印刷設定ガイド』は、プリンタドライバを削除すると削除されます。プリンタドライバを再度インストールする場合は、[電子マニュアル（取扱説明書）] もインストールしてください。
- Finder のメニューバーから［ヘルプ］を選択してヘルプメニューを開き、［ライブラリ］をクリックすると、インストールされた電子マニュアルを選択して起動させることができます。

調べたい項目をキーワードで探す

キーワードを入力して、目的のページを探すことができます。

Windows

［表示］ボタンをクリックして表示される検索画面で、調べたい項目のキーワードを入力して［検索開始］ボタンをクリックします。検索結果のリストから読みたいトピックを選択して［表示］ボタンをクリックすると、ページが表示されます。

参考

インストールされている電子マニュアルすべてを検索します。

Macintosh

（検索フィールド）に調べたい項目のキーワードを入力して［Return］キーを押します。検索結果のリストから読みたいトピックをダブルクリックすると、ページが表示されます。

（虫眼鏡アイコン）をクリックし、検索範囲を指定することができます。

- 検索 xxxx*　　現在開いているマニュアル内を検索します。
- すべてのヘルプを検索　　OS に登録されているヘルプすべてを 検索します。

* ご使用の機種名、マニュアル名が表示されます。

付録

仕様

プリンタ本体	
印刷解像度	最高　9600*（横）× 2400（縦）dpi 最小 1/9600 インチのドット（インク滴）間隔で印刷します。
印字幅	最長　203.2 mm （フチ無し印刷時 215.9 mm）
動作音	約 35 dB（A）（プロフェッショナルフォトペーパーでの最高品位印刷時）
動作環境	温度：5 ℃～ 35 ℃ 湿度：10%RH ～ 90%RH（ただし、結露がないこと）
保存環境	温度：0 ℃～ 40 ℃ 湿度：5%RH ～ 95%RH（ただし、結露がないこと）
電源	AC 100 V 50/60 Hz
消費電力	印刷待機時：約 2 W 印刷時：約 17 W ※ 電源を切った状態でも若干の電力が消費されています。完全に電力消費をなくすためには、電源プラグをコンセントから抜いてください。
寸法	429 mm（横）× 304 mm（奥行き）× 183 mm（高さ） ※ 用紙サポートと排紙トレイを格納した状態
質量	本体　約 7.5 kg
プリントヘッド	シアン、マゼンタ、イエロー、フォトマゼンタ、フォトシアン、ブラック： ノズル数　512 × 6

PictBridge	
用紙サイズ（ペーパーサイズ）	標準設定（プリンタの設定にしたがう）、L 判（PR-101 L/SP-101 L/SG-201 L/EC-101 L/EC-201 L）、2L 判（PR-101 2L/SP-101 2L/SG-201 2L/EC-101 2L）、はがき（PH-101/KH-201N/PS-101*/PSHRS*/PS-201*/ 普通紙）、カード（EC-101 カード）、A4 （PR-101 A4/SP-101 A4/SG-201 A4/GP-401 A4/ 普通紙 A4）、六切（PR-101 六切 /SG-201 六切） * キヤノン製専用シール紙です。レイアウトで 2 面配置／ 4 面配置／ 9 面配置／ 16 面配置に該当する選択項目がある場合のみ印刷できます。ダイレクト印刷については、付属の『ダイレクトプリントガイド』をご覧ください。
用紙タイプ（ペーパータイプ）	標準設定（プリンタの設定にしたがう）、フォト（スーパーフォトペーパー、光沢紙）、高級フォト（プロフェッショナルフォトペーパー）、普通紙（A4、はがきのみ）
レイアウト	標準設定（プリンタの設定にしたがう）、フチなし、フチあり、複数画像（2 面、4 面、9 面、16 面）*1、35 面配置 *2 *1 キヤノン製専用シール紙に対応したレイアウトです。➔ P.37 *2 35 mm フィルムサイズ（べた焼きサイズ）で印刷されます。キヤノン製 PictBridge 対応のカメラのみ設定できます（機種によっては設定できない場合があります）。 ※ キヤノン製 PictBridge 対応のカメラをご使用の場合、「I マーク」が表示されている項目を選ぶと、撮影時の Exif 情報を一覧や指定写真の余白に印刷できます（機種によっては設定できない場合があります）。
トリミング	標準設定（切 : トリミングなし）、入（カメラ側の設定にしたがう）、切
イメージオプティマイズ（画像補正）	標準設定（プリンタの設定にしたがう）、入、切、VIVID*、NR（ノイズリダクション）*、VIVID+NR*、顔明るく補正 *、赤目補正 * * キヤノン製 PictBridge 対応のカメラのみ設定可能（機種によっては設定できない場合があります）
日付／画像番号（ファイル番号）印刷	標準設定（切 : 印刷しない）、日付、画像番号（ファイル）、両方、切
対応機種	PictBridge 対応機器

動作環境 *1

Windows *2

インタフェース	OS	CPU	メモリ	ハードディスク空き容量 *4
USB 2.0 Hi-Speed	Windows XP SP1、SP2	PentiumIII 以上 *3（Celeron：566 MHz 以上）	128 MB 以上	400 MB 以上
	Windows 2000 Professional SP4			
USB	Windows XP SP1、SP2	PentiumII 300 MHz 以上 *3		
	Windows 2000 Professional SP2、SP3、SP4 Windows Millennium Edition Windows 98、98 Second Edition			

Macintosh *2

インタフェース	OS	CPU	メモリ	ハードディスク空き容量 *4
USB 2.0 Hi-Speed USB	Mac OS X v.10.4	Intel 製プロセッサ PowerPC G3/G4/G5	256 MB 以上	250 MB 以上
	Mac OS X v.10.2.8 - v.10.3		128 MB 以上	

*1 OS の動作条件が高い場合はそれに準じます。
最新情報はキヤノンピクサスホームページ（canon.jp/pixus）をご覧ください

*2 USB または USB 2.0 Hi-Speed が標準装備され、Windows XP、2000、Me、98 または Mac OS X v.10.2.8-v.10.4 のいずれかがプレインストールされているコンピュータ

*3 互換プロセッサも含みます

*4 同梱アプリケーションをインストールするのに必要な容量

- CD-ROM ドライブ

- 表示環境：800 × 600 以上
カラー 16 ビット以上

Macintosh

- 表示環境：800 × 600 以上
32,000 色以上

- Mac ファイルシステム：Mac OS 拡張（ジャーナリング）、Mac OS X 拡張

電子マニュアルの動作環境

Windows	Macintosh
● ブラウザ：Windows HTML Help Viewer ※ Microsoft Internet Explorer 5.0 以上がインストールされている必要があります。 お使いの OS や Internet Explorer のバージョンによっては、マニュアルが正しく表示されないことがあるため、Windows Update で最新の状態に更新することをお勧めします。	● ブラウザ：ヘルプビューア ※ お使いの OS のバージョンによっては、マニュアルが正しく表示されないことがあるため、最新のバージョンに更新することをお勧めします。

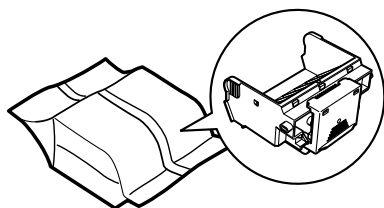
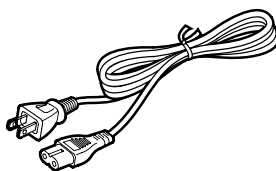
環境情報

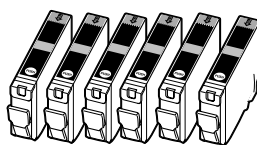
製品の環境情報につきましては、キヤノンホームページにてご覧いただけます。
canon.jp/ecology

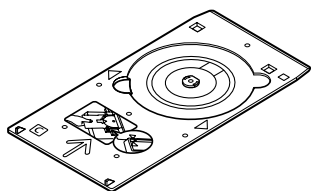
本書はリサイクルに配慮して製本されています。本書が不要になったときは、回収・リサイクルに出しましょう。

付録

同梱物について

◆ **プリンタ本体**

プリントヘッド

電源コード

8mmCD-Rアダプタ
（CD-Rトレイに重ねて装着されています）

CD-Rトレイ

インクタンク
ブラック（BCI-7eBK）
シアン（BCI-7eC）
フォトシアン（BCI-7ePC）
フォトマゼンタ（BCI-7ePM）
マゼンタ（BCI-7eM）
イエロー（BCI-7eY）

◆ **セットアップCD-ROM**
◆ **保証書**
◆ **サポートガイド**

◆ **使用説明書**
かんたんスタートガイド（本体設置編）
かんたんスタートガイド（ソフトウェアインストール編）
ダイレクトプリントガイド
操作ガイド（本書）

USB ケーブルは同梱されていません。

お問い合わせの前に

本書または『プリンタガイド』（CD-ROM）の「困ったときには」の章を読んでもトラブルの原因がはっきりしない、また解決しない場合には、次の要領でお問い合わせください。

パソコンなどのシステムの問題は？

プリンタの動作が正常に動作し、プリンタドライバのインストールも問題なければ、プリンタケーブルやパソコンシステム（OS、メモリ、ハードディスク、インタフェースなど）に故障があると考えられます。

パソコンを購入された販売店もしくは、パソコンメーカーとご相談ください。

アプリケーションソフトの問題のようだけど？

特定のアプリケーションソフトで起きるトラブルは、プリンタドライバを最新のバージョンにバージョンアップすると問題が解決する場合があります。また、アプリケーションソフト固有の問題が考えられます。

アプリケーションソフトメーカーの相談窓口にご相談ください。

プリンタドライバのバージョンアップの方法は、別紙の**「サポートガイド」**をご覧ください。

プリンタの故障の場合は？

どのような対処をしてもプリンタが動かなかったり、深刻なエラーが発生して回復しない場合は、プリンタの故障と判断されます。

- お客様相談センターまたはお近くの修理受付窓口に修理を依頼してください。
- 弊社修理受付窓口につきましては、別紙の『**サポートガイド**』をご覧ください。

※ 修理窓口へ宅配便で送付していただく場合

- プリントヘッドとインクタンクは、取り付けた状態でプリンタの電源ボタンを押して電源をお切りください。プリントヘッドの乾燥を防ぐため自動的にキャップをして保護します。
- プリンタが輸送中の振動で損傷しないように、なるべくご購入いただいたときの梱包材をご利用ください。

重要：梱包時 / 輸送時にはプリンタを傾けたり、立てたり、逆さにしたりせず、水平な状態にしてください。
他の箱をご利用になるときは、丈夫な箱にクッションを入れて、プリンタがガタつかないようにしっかりと梱包してください。

お願い：　保証期間中の保証書は、記入漏れのないことをご確認のうえ、必ず商品に添付、または商品と一緒にお持ちください。保守サービスのために必要な補修用性能部品および消耗品（インク）の最低保有期間は、製品の製造打ち切り後５年間です。なお、弊社の判断により保守サービスとして同一機種または同程度の仕様製品への本体交換を実施させていただく場合があります。同程度の機種との交換の場合、ご使用の消耗品や付属品をご使用いただけない場合もあります。

どこに問題があるのか判断できない場合やその他のお困り事は

キヤノンお客様相談センター　050—555—90011　キヤノンサポートホームページ canon.jp/support

前ページからつづく

使用済みインクカートリッジ回収のお願い

キヤノンでは、資源の再利用のために、使用済みインクカートリッジの回収を推進しています。
この回収活動は、お客様のご協力によって成り立っております。
つきましては、“キヤノンによる環境保全と資源の有効活用”の取り組みの主旨にご賛同いただき、回収にご協力いただける場合には、ご使用済みとなったインクカートリッジを、お近くの回収窓口までお持ちくださいますようお願いいたします。
キヤノンではご販売店の協力の下、全国に3000拠点をこえる回収窓口をご用意いたしております。
また回収窓口に店頭用カートリッジ回収スタンドの設置を順次進めております。
回収窓口につきましては、下記のキヤノンのホームページ上で確認いただけます。
　キヤノンサポートホームページ　canon.jp/support
事情により、回収窓口にお持ちになれない場合は、使用済みインクカートリッジをビニール袋などに入れ、地域の条例に従い処分してください。

■使用済みカートリッジ回収によるベルマーク運動
キヤノンでは、使用済みカートリッジ回収を通じてベルマーク運動に参加しています。
ベルマーク参加校単位で使用済みカートリッジを回収していただき、その回収数量に応じた点数をキヤノンより提供するシステムです。
この活動を通じ、環境保全と資源の有効活用、さらに教育支援を行うものです。詳細につきましては、下記のキヤノンホームページ上でご案内しています。
　環境への取り組み　canon.jp/ecology

お問い合わせのシート

ご相談の際にはすみやかにお答えするために予め下記の内容をご確認のうえ、お問い合わせくださいますようお願いいたします。
また、おかけまちがいのないよう電話番号はよくご確認ください。

［プリンタの接続環境について］

プリンタと接続しているパソコンの機種（　　　　　　　　　　　　）

内蔵メモリ容量（　　　　MB）／ハードディスク容量（　　　　MB/GB）

使用しているOS:Windows □XP　□Me　□2000　□98（Ver.　　　）

□Macintosh（Ver.　　　）　□その他（　　　　　）

パソコン上で選択しているプリンタドライバの名称（　　　　　　　　）

ご使用のアプリケーションソフト名およびバージョン（　　　　　　　　）

接続方法:□直結　□ネットワーク（種類:　　　　）　□その他（　　　　）

接続ケーブルメーカー（　　　　　）／品名（　　　　　　）

［プリンタの設定について］

プリンタドライバのバージョンNO.（　　　　　　　　）

パソコン上のプリンタ設定でバージョン情報が確認できます。

［エラー表示］

エラーメッセージ（できるだけ正確に）（　　　　　　　　）

エラー表示の場所:□パソコン　　□プリンタ

キヤノンマーケティングジャパン株式会社　〒108-8011 東京都港区港南2-16-6

知って得するヒント集

→［マイ プリンタ］にもヒントが載っています（Windows のみ）

印刷を中止するときは？

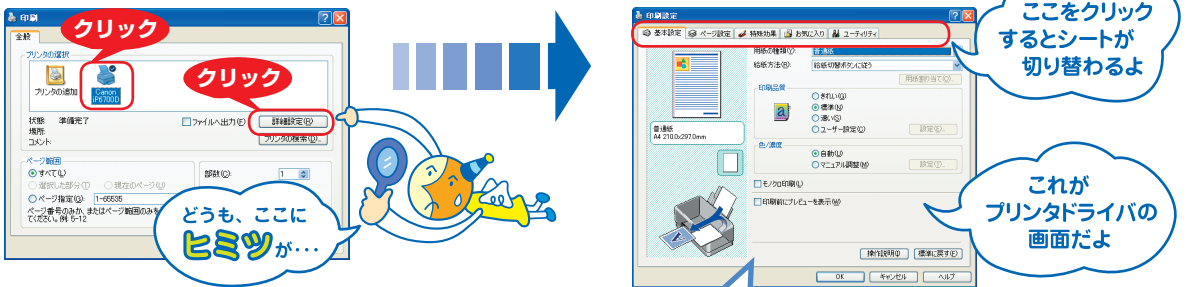
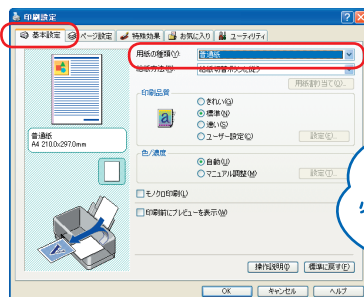
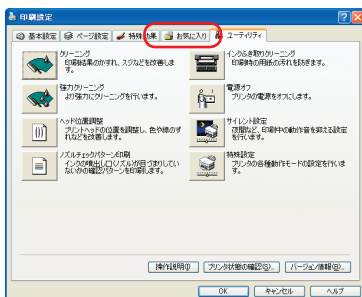
電源ボタンは押さないで!

不要な印刷ジョブがたまって印刷できなくなる場合があります。

ストップ / リセットボタン

参考 ストップ / リセットボタンを押しても印刷が完全に止まらないときは、プリンタドライバの設定画面を開き、ステータスモニタから不要な印刷ジョブを削除してください。（本書57ページ）

プリンタドライバにはきれいに印刷できるヒントが！

（Windows XP をお使いの場合）

［マイ プリンタ］を使うと、プリンタドライバを簡単に開くことができます。

プリンタドライバを新しくするときは？

最新版のプリンタドライバは古いバージョンの改良や新機能に対応しています。
プリンタドライバを新しくする（「バージョンアップ」といいます）ことで、印刷トラブルが解決することがあります。

ステップ 1
最新のプリンタドライバをダウンロードする
Windows をお使いの方は、「自動インストールサービス」を使うとカンタンに入れ替えができるよ！

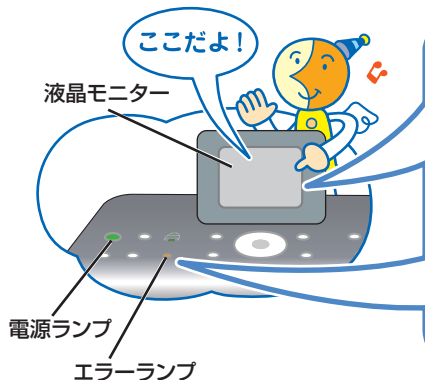
ステップ 2
古いプリンタドライバを削除する（Windows の場合）
［スタート］→［(すべての) プログラム］→［Canon PIXUS iP6700D］→［アンインストーラ］

以降は画面の指示にしたがってね！

ステップ 3
最新のプリンタドライバをインストールする
◆インストールの前に
・ プリンタの電源を切ってください。
・ プリンタとコンピュータを接続しているケーブルを抜いてください。

キヤノンPIXUSホームページにアクセス！

ダウンロード・操作手順について詳しくは、**canon.jp/support** へ

液晶モニターにエラーメッセージが表示されたら？

▶ 本プリンタでは、トラブルが発生した場合、エラーランプが点灯して、液晶モニターにエラーメッセージが表示されます。
エラーメッセージの対処方法は、別冊『ダイレクトプリントガイド』の「困ったときには」をご覧ください。

▶ 電源ランプとエラーランプが交互に点滅している場合は、修理の必要なエラーが発生しています。お客様相談センターまたは修理受付窓口にお問い合わせください。

はがきに印刷するときは？

ポイント 1
プリンタにセットするときは、印刷方向に注意してね!▶本書18ページ、26ページ

ポイント 2
プリンタドライバで［用紙の種類］を設定してね!▶本書19ページ

ポイント 3
自動両面印刷をするときは
宛名面 **通信面**

の順に印刷されるよ!

便利なアプリケーションソフト

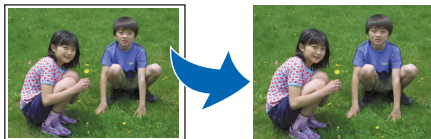
ホームページが切れないように印刷するには？

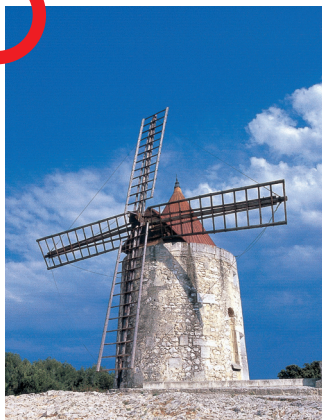
Easy-WebPrint を使えば、Web ページをページ内に収めて印刷することができます。

▶『アプリケーションガイド』（電子マニュアル）

かんたんにフチなし全面印刷するには？

Easy-PhotoPrint を使えば、デジタルカメラで撮った写真と用紙を選ぶだけで、簡単にフチなし全面印刷ができます。

▶『アプリケーションガイド』（電子マニュアル）

インクが出ない・かすれるときは？

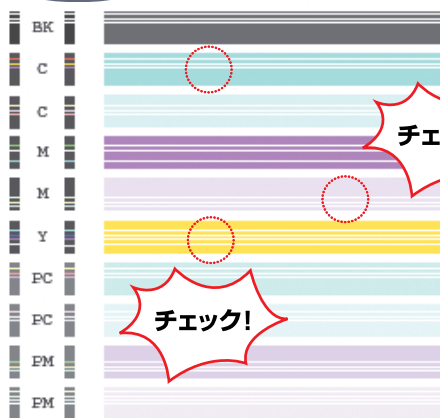
プリントヘッドのノズル（インクのふき出し口）が目づまりすると、
色味がおかしかったり印刷がかすれる場合があります。

こんなときは？

ポイント

プリントヘッドは目づまりしていませんか？

▶ノズルチェックパターンを印刷し、確認してください。（『ダイレクトプリントガイド』59 ページ）

良い例

悪い例

ノズルチェックパターンが正しく印刷されない場合は、
『ダイレクトプリントガイド』の手順にしたがってプリンタのお手入れをしてください。

いますぐ、 『ダイレクトプリントガイド』61 ページへ

参考 プリントヘッドの目づまりを防ぐため、月 1 回程度、定期的に印刷されることをお勧めします。

OPEN!

●キヤノンPIXUSホームページ canon.jp/pixus

新製品情報、Q＆A、各種ドライバのバージョンアップなど製品に関する情報を提供しております。

※通信料はお客様のご負担になります。

●キヤノンお客様相談センター

PIXUS・インクジェットプリンタに関するご質問・ご相談は、下記の窓口にお願いいたします。

キヤノンお客様相談センター
050 - 555 - 90011

【受付時間】〈平日〉9:00～20:00、〈土日祝日〉10:00～17:00（1/1～1/3は休ませていただきます）

※上記番号をご利用いただけない方は043-211-9330をご利用ください。
※IP電話をご利用の場合、プロバイダーのサービスによってつながらない場合があります。
※受付時間は予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

このプリンタで使用できるインクタンク番号は、以下のものです。

※インクタンクの交換については、『ダイレクトプリントガイド』53 ページをお読みください。

紙幣、有価証券などをプリンタで印刷すると、その印刷物の使用如何に拘わらず、法律に違反し、罰せられます。
関連法律：刑法第148条、第149条、第162条／通貨及証券模造取締法第1条、第2条　等

再生紙を使用しています。

QT5-0376-V01

PRINTED IN THAILAND